

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	1	I ・ II	音楽	I II （6 8）	小学部 1 段階

目 標	知識及び技能	音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(3)	(表現) ・教師と一緒に握手をしたり、声を出したりする。 ・名前を呼ばれたら返事をしたり、歌ったりする。 ・歌詞に合った花の写真やイラストを見ながら歌う。 ・春の映像や写真などを提示しながら歌う。 ・動物の身体表現をしながら歌う。 ・手をグーパーと動かしながら歌う。 ・歌詞に合わせて手を動かしながら歌う。 ・校歌を聴いて関心や興味をもつ。 ・曲に出てくる楽器の名前と音を知り、音を鳴らす。 ・鈴を鳴らしたり、音を止めたりする方法を知り、「しゃん」の部分で鳴らす。	・せんせいとおともだち(☆) ・きみのなまえ ・ちゅうりっぷ(☆) ・春がきた(特共) ・パンダうさぎコアラ(☆) ・むすんでひらいて(☆) ・まあるいたまご(☆) ・みやざき中央支援学校校歌 ・がっきのおとあて(☆) ・すずのきよく(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しさを見つけたりする。	・だれのせんたくもの ・はらぺこあおむし(☆)	<u>思・表・判 B 表現ア(ア)</u> <u>知・技 B 表現ア(イ)</u>
5 月	みんなでうたおう(6)	(表現) ・映像や写真、イラストなどを見て、歌詞をイメージながら歌う。  ・動物の角や鼻、耳などの特徴を身体表現したり、ポルカの踊りをしたりして楽しむ。 ・映像や写真、イラストなどを見て、歌詞をイメージながら歌う。「そっとのぞいて～」を小さな声で歌う。  ・赤白の旗やはちまきなどを用いて、運動会のイメージを持ちながら歌う。 ・布やオーガンジーなどを揺らしながら歌う。 ・こいのぼりの映像を見たり、歌詞の意味を確認したりしてから歌う。 ・動物のまねをしながら歌う。 ・歌に合わせて挨拶をしながらいろいろな教師や友達と関わる。 ・「まんぼ」「あー」「うー」の部分でタイミングを合わせて声を出したり、打楽器を鳴らしたりする。 ・教師や友達を向かい合って座り、鳴き声に合わせてタッチしたりくすぐったりする。 ・教師や友達と手をつなぎ、歌詞に合わせた振りをする。	・おはながわらった ・ちょうちょう ・おひさまきらきら(☆) ・春がきた(特共) ・はたけのぼるか(☆) ・めだかのがっこう ・運動会で歌う歌 ・はながゆれる ・こいのぼり(小共) ・ぞうさん(☆) ・おちゃをのみに(☆) ・まじっくまんぼ(☆) ・ことのうた(☆) ・手をつなごう(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しさを見つけたりする。	・おしゃれなこいのぼり ・ことのうた(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技ア B 鑑賞(イ)</u>

6月	おとであそぼう(7)	(表現) ・写真やイラストを見せ、歌詞の言葉を確認してから歌う。「つの」「やり」など身体表現をしながら歌う。  ・「だけどちよっと～」は小さく歌うなど、曲の雰囲気を楽しみながら歌う。 ・長靴や傘などを用いたりして、雨の季節をイメージして歌う。 ・雨の映像を見たり、音を聞いたりして、梅雨の様子をイメージして歌う。 ・教師の見本を見たり、音の大きさを提示したりすることで、音の強弱を意識して演奏する。 ・リーダー役と真似する側に分かれて身体表現をする。 ・カバさを身体に当ててこすったり、叩いたりして、音や感触を楽しむ。 ・歯磨きをする真似をしながら歌う。	・かたつむり(共通教材) ・でんでんかたつむり ・おばけなんてないさ(☆) ・ながぐつまーち(☆) ・かみなりどんがやってきた ・おおきなたいこ(☆) ・おちたおちた(☆) ・かばさをならそう(☆) ・はをみがきましょう(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・ペープサートなどを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しみ方を見つけたりする。	・だから雨ふり	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
7月	うたっておどって(6)	(表現) ・歌詞に出てくる人物や風景を映像やイラストで確認し、歌詞をイメージしながら歌う。 ・海の音を聞いたり映像を見たりして様子を思い浮かべてから歌う。 ・布を使って、みんなで波の表現を楽しむ。 ・タブレットのアプリで花火を打ち上げ、イメージを広げる。「どん」のタイミングで太鼓を叩く。 ・イラストや映像を見て、歌詞をイメージしながら歌う。 ・ペープサートなどで歌詞をイメージする。歌に合わせて身体を動かしたり、繰り返しの歌詞の部分を読んだりする。 ・「あ・い・う・え・お」の口形をして声を出してから歌う。体を動かしたり、声を動かしたりしながら歌う。 ・「ぱ・た・ら・か」の口の開け方や発音を確認してから歌う。イラストを提示しながら歌う。 ・ボートの絵を見てイメージを高める。教師と児童、児童同士などで向かい合って体を揺らして楽しむ。 ・お馬の親子の写真などを見てから、「ぽっくりぽっくり」の部分を読みながらゆっくり歩く。 ・象になったつもりで曲に合わせてゆっくり歩いたり、手を鼻に見立てて動かしたりする。 ・1つ1つの動作を確認した後、ペアになって曲に合わせた動作で踊る。	・七夕さま(☆) ・うみ(☆) ・ちいさいうみおおきいうみ(☆) ・はなび(☆) ・ほたるこい(☆なくなっている) ・バナナのおやこ(☆) ・あ・い・う・え・お～！(☆) ・ぱっぱぱたらかのうた(☆) ・ゆらゆらボート(☆) ・おうま(☆) ・ぞうさん(☆) ・くまさんくまさん(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て、曲の楽しい雰囲気を感じる。  ・光遊びや夜空をイメージするような曲を流す。	・南の島のハメハメハ大王(☆☆) ・すてきなぼうしやさん(☆) ・光あそび	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
9月	りずむにあわせて(6)	(表現) ・実際の虫の声を聴いたり、映像を見たりしてから、数種類の打楽器で簡単な演奏する。 ・映像を見たり、めがねをかけたりしながら、楽しんで歌う。 ・映像を見たり、歌詞の言葉を確認したりして、月の様子を思い浮かべながら歌う。 ・花の写真やイラストを見ながら、歌の一部を声に出したり歌ったりする。 ・手をつないだり、輪っかを持ったり、友達と関わりながら表現する。 ・簡単なリズム譜を見ながら曲に合わせてカスタネットをたたく。 ・簡単なリズム譜を見ながら曲に合わせて手拍子をする。 ・みや央祭で発表する曲に親しむ。 ・「おおきなわ」「ちいさなわ」の違いを動作で表しながら歌う。	・虫のこえ(共通教材) ・とんぼのめがね(☆) ・つき(小共) ・はなのかのん(☆) ・てをつなごう(☆)4月？ ・かわいいカスタネット ・みんなでみつつ ・みや央祭の曲 ・おおきなわちいさなわ(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・絵本やパネルシアターを見て、曲の楽しい雰囲気を感じる。	・3びきのやぎのがらがらどん(☆) ・おつきさまこんばんは	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>

10月	がっきをならそう(7)	(表現) ・教師や友達と2人組になって、体を動かしながら歌う。 ・見本を見ながら曲に合わせて体を動かす。速さを変えて楽しみながら身体表現する。 ・歌いながら歌詞に合わせて教師や友達の体に触れる。 ・パネルシアターや映像を見て、歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。「ころころ」の部分で手を動かしながら歌う。 ・繰り返し出てくる「きききのこ」の歌詞をリズムに合わせて歌唱するようにする。 ・「BINGO」に合わせて手拍子をしながら歌う。  ・数種類の楽器から演奏するものを選び、自由に演奏する。 ・「へーい」の部分で声を出して手を挙げたり、タンブリンを振って鳴らしながら上に上げたりする。 ・夕焼けの映像を見て情景をイメージしながら歌う。	・なべなべそこぬけ(☆) ・あたまかたひざぼん(☆) ・ぱんやさんにおかいもの(☆) ・どんぐりころころ(☆) ・きのこ ・こいぬのビンゴ(☆なくなっている) ・みや央祭の曲 ・がっきをならそう(☆) ・へい！たんぶりん(☆) ・夕やけこやけ(特共)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・映像や写真とともに様子を思い浮かべながら音楽を聴く。	・まじよのたつきゅうびん(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
11月	ひびきあいをたのしもう(7)	(表現) ・実物や挿絵、映像などを見て、まつぼっくりを思い浮かべながら歌う。 ・教師や友達と一緒に歌詞に合わせた身体表現をする。 ・教師や友達と2人組になって身体表現をする。 ・楽器の名前と音を結びつける。楽器の感触を確かめたり、動かして音を出したりする。 ・曲に合わせて「ド」の音を出す。 ・イラストや写真を見てビスケットや調理のイメージをもつ。ペアで向かい合って手のひらや体をくすぐる。 ・歌詞に合わせて動作をしながら歌う。	・まつぼっくり(☆) ・イモほれホーレ ・おいものてんぷら ・いっしょにならそうよ(☆) ・まほうのド ・びすけっとをやきましょう(☆) ・ぱんやさんにおかいもの(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・絵本をみな見ながら曲を聴いて楽しむ。	・さつまのおいも ・はたらくるま(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
12月	いろいろなおんがく(6)	(表現) ・映像やイラストを見てクリスマスの雰囲気を感じながら歌う。 ・動物を身体表現しながら踊る。 ・ペープサートや映像などを見ながら歌う。 ・ペープサートや人形などでイメージをもたせてから歌う。	・ジングルベル ・ブンバボーン ・かくれんぼ(☆なくなっている) ・おもちゃのへいたい(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・巡邏兵の様子や吹奏楽の映像を見ながら曲を聴く。 ・パネルシアターを見て、クリスマスの曲に親しむ。	・アメリカンパトロール ・森のクリスマス ・すてきなハーブ(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
1月	うたってあそんで(7)	(表現) ・十二支についての話を聞いた後、挿絵や映像を見ながら歌う。 ・うがいをする真似をしながら歌う。 ・歌詞に合わせて身体表現し、「ガチッ」の部分では止まる。曲の速さを楽しむ。 ・曲に合わせて体をこする真似をする。 ・教師や友達と2人組になって体を動かす。 ・歌詞に出てくる体の部位を押さえる。 ・向かい合って模倣したり、触れ合って遊んだりする。	・十二支のうた ・ガラガラガラッペ ・こおっちゃう ・こすれこすれ ・なべなべそこぬけ(☆) ・ガッチリガード ・のねずみ(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・映像を見ながら聴き、バイオリンとピアノの音色の違いに気付く。	・こんこんくしゃんのうた(☆) ・がぼっと(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>

2月	うたってあそんで(7)	(表現) ・節分に関する映像やイラストを見たり、豆を撒く真似をしたりしながら歌う。 ・教師や友達と2人組になってにらめっこを楽しむ。 ・歌に合わせて身体表現をする。 ・教師や映像を見ながら手遊び歌をする。 ・手を腰に当てて、腰を振ったりして曲に合わせて身体表現をする。 ・食べ物に合わせて身振りをしながら歌う。 ・卒業に関する話を聞いたり、挿絵を見たりして曲の雰囲気を感じる。サビの部分を手話で表しながら歌う。	・まめまき(☆) ・だるまん(☆) ・おにのパンツ ・とんとんとんひげじいさん ・ちえっちえっこり(☆) ・おやつたーべよ。(☆) ・ビリーブ ・うれしいひなまつり(☆☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・落ち着いた環境で聴く。	・ラララひなまつり ・おどるこねこ(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
3月	うたってあそんで(6)	(表現) ・曲に合わせて手遊びをする。 ・映像やイラストを見ながら楽しい雰囲気で歌う。 ・曲に合わせて体を動かしながら「グーチョキパー」を出す。 ・卒業に関する話を聞いたり、挿絵を見たりして曲の雰囲気を感じる。起立して歌う。	・ちいさなはたけ ・ぶんぶんぶん ・ケラケラじゃんけん ・旅立ちの日に ・ビリーブ ・きみがよ(☆) ・みやざき中央支援学校校歌	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・映像やイラストなどを見ながら聴く。	・ラララひなまつり ・はるよこい ・おはながわらった	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
年間を通して		・歌うことで、学習の始まりを意識する。 楽器の片づけの際に歌うことで、片づけを意識する。 ・歌うことで、学習の終わりを意識する。 ・生単(誕生会)などの学習時に歌う。 ・校外学習の前に歌うことで、校外学習への意欲を高める。「右・左」などの歌詞に合わせて体を動かす。 ・校外学習の前に歌うことで、校外学習への意欲を高める。曲の速さを楽しみながら手遊びをする。	・はじまるよ ・おかたづけ(☆) ・さよならあしたもね(☆) ・はッピーばーすでー(☆) ・ばすごっこ(☆) ・おべんとうばこのうた(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u> <u>B 鑑賞ア(イ)</u>

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	2	I ・ II	音楽	I II （ 7 0 ）	小学部 1 段階

目 標	知識及び技能	音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(5)	(表現) ・教師と一緒に握手をしたり、声を出したりする。 ・名前を呼ばれたら返事をしたり、歌ったりする。 ・歌詞に合った花の写真やイラストを見ながら歌う。 ・春の映像や写真などを提示しながら歌う。 ・動物の身体表現をしながら歌う。 ・手をグーパーと動かしながら歌う。 ・歌詞に合わせて手を動かしながら歌う。 ・校歌を聴いて関心や興味をもつ。 ・曲に出てくる楽器の名前と音を知り、音を鳴らす。 ・鈴を鳴らしたり、音を止めたりする方法を知り、「しゃん」の部分で鳴らす。	・せんせいとおともだち(☆) ・きみのなまえ ・ちゅうりっぷ(☆) ・春がきた(特共) ・パンダうさぎコアラ(☆) ・むすんでひらいて(☆) ・まあるいたまご(☆) ・みやざき中央支援学校校歌 ・がっきのおとあて(☆) ・すずのきよく(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しさを見つけたりする。	・だれのせんたくもの ・はらぺこあおむし(☆)	<u>思・表・判 B 表現ア(ア)</u> <u>知・技 B 表現ア(イ)</u>
5 月	みんなでうたおう(6)	(表現) ・映像や写真、イラストなどを見て、歌詞をイメージながら歌う。  ・動物の角や鼻、耳などの特徴を身体表現したり、ポルカの踊りをしたりして楽しむ。 ・映像や写真、イラストなどを見て、歌詞をイメージながら歌う。「そっとのぞいて～」を小さな声で歌う。  ・赤白の旗やはちまきなどを用いて、運動会のイメージを持ちながら歌う。 ・布やオーガンジーなどを揺らしながら歌う。 ・こいのぼりの映像を見たり、歌詞の意味を確認したりしてから歌う。 ・動物のまねをしながら歌う。 ・歌に合わせて挨拶をしながらいろいろな教師や友達と関わる。 ・「まんぼ」「あー」「うー」の部分でタイミングを合わせて声を出したり、打楽器を鳴らしたりする。 ・教師や友達を向かい合って座り、鳴き声に合わせてタッチしたりくすぐったりする。 ・教師や友達と手をつなぎ、歌詞に合わせた振りをする。	・おはながわらった(☆なくなっている。3月 に?) ・ちょうちょう ・おひさまきらきら(☆) ・春がきた(特共) ・はたけのぼるか(☆) ・めだかのがっこう ・運動会で歌う歌 ・はながゆれる ・こいのぼり(小共) ・ぞうさん(☆) ・おちゃをのみに(☆) ・まじっくまんぼ(☆) ・ことのうた(☆) ・手をつなごう(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しさを見つけたりする。	・おしゃれなこいのぼり ・ことのうた(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技ア B 鑑賞(イ)</u>

6月	おとであそぼう(7)	(表現) ・写真やイラストを見せ、歌詞の言葉を確認してから歌う。「つの」「やり」など身体表現をしながら歌う。  ・「だけどちよっと～」は小さく歌うなど、曲の雰囲気を楽しみながら歌う。 ・長靴や傘などを用いたりして、雨の季節をイメージして歌う。 ・雨の映像を見たり、音を聞いたりして、梅雨の様子をイメージして歌う。 ・教師の見本を見たり、音の大きさを提示したりすることで、音の強弱を意識して演奏する。 ・リーダー役と真似する側に分かれて身体表現をする。 ・カバさを身体に当ててこすったり、叩いたりして、音や感触を楽しむ。 ・歯磨きをする真似をしながら歌う。	・かたつむり(共通教材) ・でんでんかたつむり ・おばけなんてないさ(☆) ・ながぐつまーち(☆) ・かみなりどんがやってきた ・おおきなたいこ(☆) ・おちたおちた(☆) ・かばさをならそう(☆) ・はをみがきましょう(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・ペープサートなどを見ながら、一緒に歌ったり、自分なりの楽しみ方を見つけたりする。	・だから雨ふり	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
7月	うたっておどって(6)	(表現) ・歌詞に出てくる人物や風景を映像やイラストで確認し、歌詞をイメージしながら歌う。 ・海の音を聞いたり映像を見たりして様子を思い浮かべてから歌う。 ・布を使って、みんなで波の表現を楽しむ。 ・タブレットのアプリで花火を打ち上げ、イメージを広げる。「どん」のタイミングで太鼓を叩く。 ・イラストや映像を見て、歌詞をイメージしながら歌う。 ・ペープサートなどで歌詞をイメージする。歌に合わせて身体を動かしたり、繰り返しの歌詞の部分を歌ったりする。 ・「あ・い・う・え・お」の口形をして声を出してから歌う。体を動かしたり、声を動かしたりしながら歌う。 ・「ば・た・ら・か」の口の開け方や発音を確認してから歌う。イラストを提示しながら歌う。 ・ボートの絵を見てイメージを高める。教師と児童、児童同士などで向かい合って体を揺らして楽しむ。 ・お馬の親子の写真などを見てから、「ぽっくりぽっくり」の部分を歌いながらゆっくり歩く。 ・象になったつもりで曲に合わせてゆっくり歩いたり、手を鼻に見立てて動かしたりする。 ・1つ1つの動作を確認した後、ペアになって曲に合わせた動作で踊る。	・七夕さま(☆) ・うみ(☆) ・ちいさいうみおおきいうみ(☆) ・はなび(☆) ・ほたるこい(☆なくなっている) ・バナナのおやこ(☆) ・あ・い・う・え・お〜！(☆) ・ぽっぽっばたらかのうた(☆) ・ゆらゆらボート(☆) ・おうま(☆) ・ぞうさん(☆) ・くまさんくまさん(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て、曲の楽しい雰囲気を感じる。  ・光遊びや夜空をイメージするような曲を流す。	・南の島のハメハメハ大王(☆☆) ・すてきなぼうしやさん(☆) ・光あそび	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
9月	りずむにあわせて(6)	(表現) ・実際の虫の声を聴いたり、映像を見たりしてから、数種類の打楽器で簡単な演奏する。 ・映像を見たり、めがねをかけたりしながら、楽しんで歌う。 ・映像を見たり、歌詞の言葉を確認したりして、月の様子を思い浮かべながら歌う。 ・花の写真やイラストを見ながら、歌の一部を声に出したり歌ったりする。 ・手をつないだり、輪っかを持ったり、友達と関わりながら表現する。 ・簡単なリズム譜を見ながら曲に合わせてカスタネットをたたく。 ・簡単なリズム譜を見ながら曲に合わせて手拍子をする。 ・みや央祭で発表する曲に親しむ。 ・「おおきなわ」「ちいさなわ」の違いを動作で表しながら歌う。	・虫のこえ(共通教材) ・とんぼのめがね(☆) ・つき(小共) ・はなのかのん(☆) ・てをつなごう(☆)4月？ ・かわいいカスタネット ・みんなでみつつ ・みや央祭の曲 ・おおきなわちいさなわ(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・絵本やパネルシアターを見て、曲の楽しい雰囲気を感じる。	・3びきのやぎのがらがらどん(☆) ・おつきさまこんばんは	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>

10月	がっきをならそう(7)	(表現) ・教師や友達と2人組になって、体を動かしながら歌う。 ・見本を見ながら曲に合わせて体を動かす。速さを変えて楽しみながら身体表現する。 ・歌いながら歌詞に合わせて教師や友達の体に触れる。 ・パネルシアターや映像を見て、歌詞の様子を思い浮かべながら歌う。「ころころ」の部分で手を動かしながら歌う。 ・繰り返し出てくる「きききのこ」の歌詞をリズムに合わせて歌唱するようにする。 ・「BINGO」に合わせて手拍子をしながら歌う。  ・数種類の楽器から演奏するものを選び、自由に演奏する。 ・「へーい」の部分で声を出して手を挙げたり、タンブリンを振って鳴らしながら上に上げたりする。 ・夕焼けの映像を見て情景をイメージしながら歌う。	・なべなべそこぬけ(☆) ・あたまたたひざぼん(☆) ・ぱんやさんにおかいもの(☆) ・どんぐりころころ(☆) ・きのこ ・こいぬのビンゴ(☆なくなっている) ・みや央祭の曲 ・がっきをならそう(☆) ・へい！たんぷりん(☆) ・夕やけこやけ(特共)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・映像や写真とともに様子を思い浮かべながら音楽を聴く。	・まじよのたつきゅうびん(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
11月	ひびきあいをたのしもう(7)	(表現) ・実物や挿絵、映像などを見て、まつぼっくりを思い浮かべながら歌う。 ・教師や友達と一緒に歌詞に合わせた身体表現をする。 ・教師や友達と2人組になって身体表現をする。 ・楽器の名前と音を結びつける。楽器の感触を確かめたり、動かして音を出したりする。 ・曲に合わせて「ド」の音を出す。 ・イラストや写真を見てビスケットや調理のイメージをもつ。ペアで向かい合って手のひらや体をくすぐる。 ・歌詞に合わせて動作をしながら歌う。	・まつぼっくり(☆) ・イモほれホーレ ・おいものてんぷら ・いっしょにならそうよ(☆) ・まほうのド ・びすけっとをやきましょう(☆) ・ぱんやさんにおかいもの(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・絵本をみな見ながら曲を聴いて楽しむ。	・さつまのおいも ・はたらくるま(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
12月	いろいろなおんがく(6)	(表現) ・映像やイラストを見てクリスマスの雰囲気を感じながら歌う。 ・動物を身体表現しながら踊る。 ・ペープサートや映像などを見ながら歌う。 ・ペープサートや人形などでイメージをもたせてから歌う。	・ ・ジングルベル ・ブンバボーン ・かくれんぼ(☆なくなっている) ・おもちゃのへいたい(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・巡邏兵の様子や吹奏楽の映像を見ながら曲を聴く。 ・パネルシアターを見て、クリスマスの曲に親しむ。	・アメリカンパトロール ・森のクリスマス ・すてきなハープ(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
1月	うたってあそんで(7)	(表現) ・十二支についての話を聞いた後、挿絵や映像を見ながら歌う。 ・うがいをする真似をしながら歌う。 ・歌詞に合わせて身体表現し、「ガチッ」の部分では止まる。曲の速さを楽しむ。 ・曲に合わせて体をこする真似をする。 ・教師や友達と2人組になって体を動かす。 ・歌詞に出てくる体の部位を押さえる。 ・向かい合って模倣したり、触れ合って遊んだりする。	・十二支のうた ・ガラガラガラッペ ・こおっちゃう ・こすれこすれ ・なべなべそこぬけ(☆) ・ガッチリガード ・のねずみ(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・映像を見ながら聴き、バイオリンとピアノの音色の違いに気付く。	・こんこんくしゃんのうた(☆) ・がぼっと(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>

2月	うたってあそんで(7)	(表現) ・節分に関する映像やイラストを見たり、豆を撒く真似をしたりしながら歌う。 ・教師や友達と2人組になってにらめっこを楽しむ。 ・歌に合わせて身体表現をする。 ・教師や映像を見ながら手遊び歌をする。 ・手を腰に当てて、腰を振ったりして曲に合わせて身体表現をする。 ・食べ物に合わせて身振りをしながら歌う。 ・卒業に関する話を聞いたり、挿絵を見たりして曲の雰囲気を感じる。サビの部分を手話で表しながら歌う。	・まめまき(☆) ・だるまん(☆) ・おにのパンツ ・とんとんとんひげじいさん ・ちえっちえっこり(☆) ・おやつたーべよ。(☆) ・ビリーブ ・うれしいひなまつり(☆☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・落ち着いた環境で聴く。	・ラララひなまつり ・おどるこねこ(☆)	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
3月	うたってあそんで(6)	(表現) ・曲に合わせて手遊びをする。 ・映像やイラストを見ながら楽しい雰囲気で歌う。 ・曲に合わせて体を動かしながら「グーチョキパー」を出す。 ・卒業に関する話を聞いたり、挿絵を見たりして曲の雰囲気を感じる。起立して歌う。	・ちいさなはたけ ・ぶんぶんぶん ・ケラケラじゃんけん ・旅立ちの日に ・ビリーブ ・きみがよ(☆) ・みやざき中央支援学校校歌	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u>
		(鑑賞) ・パネルシアターを見て曲の雰囲気を楽しむ。 ・映像やイラストなどを見ながら聴く。	・ラララひなまつり ・はるよこい ・おはながわらった	<u>思・表・判 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 B 鑑賞ア(イ)</u>
年間を通して		・歌うことで、学習の始まりを意識する。 楽器の片づけの際に歌うことで、片づけを意識する。 ・歌うことで、学習の終わりを意識する。 ・生単(誕生会)などの学習時に歌う。 ・校外学習の前に歌うことで、校外学習への意欲を高める。「右・左」などの歌詞に合わせて体を動かす。 ・校外学習の前に歌うことで、校外学習への意欲を高める。曲の速さを楽しみながら手遊びをする。	・はじまるよ ・おかたづけ(☆) ・さよならあしたもね(☆) ・はッピーばーすでー(☆) ・ばすごっこ(☆) ・おべんとうばこのうた(☆)	<u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u> <u>B 鑑賞ア(ア)</u> <u>知・技 A 表現ア(イ)(ウ)㊦㊧㊨</u> <u>B 鑑賞ア(イ)</u>



学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	3	I ・ II	音楽	I II （7 0）	小学部 2 段階

目 標	知識及び技能	曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気づくとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に楽しく関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(5)	(歌唱) ・範唱を聴きながら、手拍子を打ち、拍子感やフレーズ感を感じ取ることができるようにする。 ・イラストを示して、歌詞の内容(ストーリー)の理解を促すようにする。 ・範唱を聴いた後、前半の旋律では教師と児童で交互唱えができるようにする。 ・後半の旋律の言葉のもつリズムを楽しめるようにする。発語が苦手な児童の場合は、打楽器で拍打ちをするようにする。	・みやざき中央支援学校校歌  ・春が来た(特小共)  ・春の小川(特共)  ・さくらさくら(小共) ・ぶんぶんぶん(☆☆) ・アイアイ(☆☆) ・もりのくまさん(☆☆) ・ぱぱぱのうた(☆☆) ・こぶたぬきつねこ(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・音楽を聴きながら跳んだり、走り回ったり、いくつかの動作を組み合わせて曲の楽しさを身体全体で感じるようにする。 ・教師による電車ごっこを見て、期待感を高められるようにする。 ・「かもつ列車」では、電車ごっこをして、出発進行の合図を笛や打楽器で鳴らすようにする。	・ふうせん ・かもつ列車(☆☆) ・アイアイ(☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(器楽) ・教師や友達と一緒にリズムの違いを感じて演奏する。 ・児童はそれぞれのパートに分かれてリズムの違いを感じて演奏する。	・みんなでみつつ ・ぱぱぱのうた(☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(鑑賞) ・教師の示す絵本やペープサート、挿絵、パネルシアターを歌とともに鑑賞するようにする。 ・「月曜日」や「〇〇を食べました」などの特徴的な歌詞と旋律部分を、教師や友達と一緒に歌って楽しむようにする。	・はらぺこあおむし(☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
5 月	みんなでうたおう(6)	(歌唱) ・挿絵やパネルシアターを示すと同時に歌詞を覚えられるようにする。	・ドレミのうた(☆☆) ・まきばの朝(小共) ・燃えろ運動会 ・うんどうかい(☆☆) ・はしるのだいすき(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・曲を聴き、身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現するようにする。 例:「ドはドーナツのド」→しゃがんで手は足の甲を拍に合わせて叩く。	・しあわせなら手をたたこう ・かぜよふけふけ ・茶つみ(小共) ・ドレミのうた(☆☆) ・うんどうかい(☆☆) ・はしるのだいすき(☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)

		(器楽) ・音名に合わせて(卓上ベル・ミュージックパッド・木琴など)の楽器を鳴らすようにする。 ・「しあわせなら手をたたこう」では、タンブリンや鈴など身近な楽器を使ってリズム打ちをするようにつなげる。	・ドレミのうた(☆☆) ・しあわせなら手をたたこう ・うんどうかい(☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(鑑賞) ・教師の示すペープサートや挿絵、パネルシアターを歌とともに鑑賞するようにする。 ・「おはよう」や「あかい」などの特徴的な歌詞と旋律部分を教師や友達と一緒に歌って楽しめるようにする。	・おはようくれよん(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
6月	おとであそぼう(7)	(歌唱) ・「あめふりくまのこ」では、挿絵やペープサートを示しながら、熊の子の可愛らしい仕草や情景が思い浮かぶように範唱する。 ・「とけいのうた」では、様々な時計やメトロノームの音などを実際に聴き、時計や時計の音に対するイメージをもてるようにする。 ・「シャボン玉とばせ」では、挿絵の中の好きな動物を選んで歌ったり、挿絵にない動物を取り上げて歌ったり、動物を自分に置き換えて歌ったりするようにする。	・あめふりくまのこ(☆☆) ・あめふり水族館(☆☆) ・かえるのがっしょう ・とけいのうた(☆☆) ・おおきな古時計(☆☆) ・にじ ・しゃぼんだまとばせ(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・「あめふりくまのこ」では、「そうっとのぞく」「おみずをのむ」などの簡単な動作を熊の子になったつもりで音楽に合わせて表現できるようにする。 ・「あめふり水族館」では、レインコートや長靴を身につけ、曲に合わせて傘を回すなどの身体表現をしながら聴くようにする。	・あめふりくまのこ(☆☆) ・しゃぼんだまとばせ(☆☆) ・あめふり水族館(☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(器楽) ・一つの楽器を複数の鳴らし方で音を出し、同じ楽器でもたたき方や鳴らし方によって音が変わることに気づくようにする。また、速さや強弱、リズムを変えた表現方法を試みるようにする。 ・卓球のボール、レインスティックなどの身近な道具や打楽器を鳴らして、音の特徴を楽しむようにする。	・あめのおとをならしてみよう(☆☆) ・あまだれ(☆☆) 器 音 ・プールでちゃっぷん(☆☆) 身	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(鑑賞) ・小雨と大雨などの違いが分かりやすい雨だれの映像を見たり、雨音を聞いたりするようにする。 ・教科書の挿絵や雨の街の風景写真、動画などを示し、雨が降る街の様子を十分にイメージできるようにする。	・あめのおとをならしてみよう(☆☆) ・あめふり水族館(☆☆) ・しゃぼんだまとばせ(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
7月	うたっておどって(6)	(歌唱) ・「かれーらいす」では、材料や道具を表すペープサートやパネルシアターを示したり、野菜の絵を動かしたりしながら範唱する。 ・「かれーらいす」では、鍋に材料を入れる児童、歌唱する児童に分かれて、役割を交代しながら、教師や友達と一緒に歌唱するようにする。 ・教師の範唱の後について、掛け合いの部分进行を歌うようにする。	・きらきらぼし ・かいかにひとで ・うみのおさかなたいそう ・カレーライス(☆☆) ・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・「かれーらいす」では、道具や材料などの具体物(野菜の模型など)を児童が切ったり、次々に鍋に入れてぐつぐつ煮込んだりして、調理の様子を身体表現するようにする。 ・	・カレーライス(☆☆) ・ひまわりハッピー ・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆) ・うみのおさかなたいそう ・せんたく(☆☆) 身	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(器楽) ・「みなみの島のハメハメハ大王」では、教師と一緒に楽器を鳴らしながら歌うようにする。	・きらきらぼし ・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆) ・うみのおとをならそう	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)

		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>材料や道具を示すペープサートやパネルシアターを示したり、野菜の絵を動かしたりしながら範唱する。</li><li>「みなみの島のハメハメハ大王」では、1 番から 4 番まで、教師が歌いながら身体表現をする様子を見るようにする。</li><li>「みなみの島のハメハメハ大王」では、教師の範唱と一緒に教科書のイラストやパナエルシアターを見る。</li></ul>	<p>・カレーライス(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
9月	りずむにあわせて(6)	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>月の静止画や影絵、パネルシアターなどを用いて、視覚的に月のうさぎをイメージできるようにしながら範唱する。</li><li>うさぎのお面を被ったり、うさぎの耳に見立てて手をつけたりしながら、歌詞に合わせて跳ねたり、体を左右に揺らせたりする動きで身体表現をするようにする。</li><li>教師の範唱に合わせて、「うさぎうさぎ」や「ぐーちーぱー」、「ほれほれほれほれ」、「きききのこ」の部分など歌いやすいフレーズを歌唱するようにする。</li><li>キノコの挿絵や紅葉、すすきなどの映像を見て、秋の雰囲気を感じられるようにする。</li></ul>	<p>・やきいもグーチーパー(☆☆)</p> <p>・ふしぎなポケット(☆☆)</p> <p>・うさぎ(小共)</p> <p>・いもほれホーレ</p> <p>・きのこ(☆☆)</p> <p>・さつまのおいも</p> <p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「きのこ」では、模範に合わせて、自由に手足を動かして身体表現をする。</li></ul>	<p>・やきいもグーチーパー(☆☆)</p> <p>・ほれほれもぐら</p> <p>・きのこ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>動物たちがならす楽器の違いに気付けるようにする。</li><li>歌庭瀬手、動物の鳴らす音の部分を一緒に歌うようにする。</li><li>「●●●○」の絵譜を見ながらリズムパターンを手拍子し、徐々に歌に合わせられるようにする。</li></ul>	<p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ポケットにビスケットが入っているイラストを用意し、増えていく様子を示しながら範唱する。</li><li>「ひとつ」や「ふたつ」等、曲の一部分を歌う練習をするようにする。</li><li>「ポケットの中には○○○がひとつ」の○○○の部分に。児童が自分の欲しい物を入れて歌うようにする。</li></ul>	<p>・ふしぎなポケット(☆☆)</p> <p>・さつまのおいも</p> <p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
10月	がっきをならそう(7)	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>様々な秋の虫や鳴き声を表現することができるようにする。</li><li>とんびが空を雄大に飛び回る映像を見て、イメージしながら歌唱するようにする。</li></ul>	<p>・むしのこえ(特小共)</p> <p>・とんび(小共)</p> <p>・もみじ(小共)</p> <p>・くるりんぱっぱ</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「●●●○」と「●●●○」の絵譜を見ながら、教師の歌の後について「ちゃちゃちゃ」の部分进行を歌うようにする。慣れてきたら「ちゃちゃちゃ」の部分を手拍子で演奏するようにする。</li><li>打楽器を使って「ちゃちゃちゃ」の部分进行を演奏するようにする。</li><li>8分音符(♪♪♪♪)を演奏するグループと4分音符(♪♪♪♪)を演奏するグループに分かれて、2つのリズムの違いを十分に味わいながら演奏できるようにする。</li><li>好きな楽器を選び、全員で合奏するようにする。</li><li>4分音符(♪♪♪♪)や(♩♪♪♪)など様々なリズムの違いを味わいながら、演奏できるようにする。</li></ul>	<p>・またあそぼ(☆☆)</p> <p>・おもちゃのチャチャチャ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>模範に合わせて、自由に手足を動かして身体表現をする。</li></ul>	<p>・おおきくいっぱ</p> <p>・てびょうし音楽会</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>挿絵やイラストなどを見ながらイメージがもてるようにする。</li></ul>	<p>・ぼうしぼうし</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>

11月	ひびきあいをたのしもう(7)	(歌唱) ・教師が歌を範唱し、その歌に合わせて、提示する絵を見て、楽しむようにする。 ・教師が歌を範唱しながら、曲の流れに合わせてホワイトボードにイラストを順に掲示していく。 ・歌詞にあるものや動物などの振りを曲に合わせて身体表現をして楽しむようにする。 ・曲や数字の理解が進んできた児童には、歌詞に合わせて児童が自分ではりながら歌って楽しめるようにする。 ・身近な材料や用具を使って児童が數位じゃ数字に似たイラストを描き、それを歌いながらホワイトボードに貼っていくようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・たこにゆうどう(☆☆) ・チャチャチャのリズム ・あくびのうた ・おおきなうた ・トランペットふきの休日	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>
		(器楽) ・教師の範奏を見たり聴いたりするようにする。 ・「 <b>♪♪♪</b> 」や「 <b>♪♪♪</b> 」のリズムで、手拍子をしたり、一斉あるいは、順番に交代しながら演奏するようにする。 ・身近な打楽器を準備し、好きな楽器を選ぶようにする。 ・音量に少しずつ変化を加えて、音の強弱やリズムの違いを分かりやすく演奏し、リズムの楽しさを感じ取れるようにする。	・ <b>たぬきのたいこ(☆☆)</b> ・ <b>ちゃちゃちゃはすばらしい(☆☆)</b> ・ <b>チャチャチャのリズム</b>	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u>
		(身体表現) ・音楽に合わせて、手拍子を打ったり、隣の友達と手拍子を打ったり、手で膝を打つなどの身体表現をするようにする。 ・ポルカの音楽に合わせた舞踊の映像を見たり、教師が楽しく踊ったりする様子を見るようにする。 ・曲を聴きながら、自由に身体表現するようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・くらりねっとぼるか(☆☆)	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・楽器のイラストを示し、クラリネットについてしるようにする。 ・曲を聴きながら、軽快なテンポのメロディーに合わせて体を左右に揺らすようにする。 ・クラリネットの独奏や重奏で演奏している映像を鑑賞するようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・ <b>たこにゆうどう(☆☆)</b> ・ほしにねがいを(☆☆) ・くらりねっとぼるか(☆☆) ・トランペットふきの休日	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>
12月	いろいろなおんがく(6)	(歌唱) ・教師が歌を範唱し、その歌に合わせて、提示する絵を見て、楽しむようにする。 ・冬の街の様子を見たり、年の瀬の曲を聞いたりしながら、年末を感じることができるようになる。	・あわてんぼうのサンタクロース ・ジングルベル ・あつという間にクリスマス ・きよしこの夜 ・十二支のうた ・おしょうがつ(☆☆)	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>
		(器楽) ・「 <b>♪♪♪</b> 」や「 <b>♪♪♪</b> 」のリズムで、手拍子をしたり、一斉あるいは、順番に交代しながら演奏するようにする。	・きよしこの夜 ・あわてんぼうのサンタクロース ・ジングルベル ・ <b>かねがなる(☆☆)</b>	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u>
		(身体表現) ・曲のフレーズに合わせて、体の部位をくねらせて表現するようにする。	・ <b>すけーたーず わるっ(☆☆)</b>	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・スケートをしている人々の写真やDVD映像を見て、イメージを広げられるようにする。 ・体の揺らし方を工夫しながら、3拍子に合わせて鑑賞するようにする。 ・躍動的にステップを踏んだり、ジャンプをしたりする等して鑑賞するようにする。 ワルツのリズムに合わせて教師や友達と一緒にからだを動かしたり、教師や友達と手をつないで体を揺らしたり、部分的に跳ねたりなどして鑑賞するようにする。	・ <b>すけーたーず わるっ(☆☆)</b>	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>

1月	うたってあそんで（7）	<p>（歌唱）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「もちつき」では、餅つきをしている教科書の挿絵や写真、動画で餅つきの様子を示し、イメージをたかめられるようにする。</li><li>・教師の範唱を聴いて、手拍子をしたり、歌を覚えて斉唱したりする。</li><li>・「ゆき」では、雪の降る映像や雪が積もった景色の画像を見ながら曲を聴き、イメージを膨らませることができるようになる。</li><li>・教師が「ゆきや」と歌い、児童が「こんこ」とこたえるように歌うようにする。</li><li>・少しずつ、1番を通して歌えるようにする。</li><li>・「ゆき」のリズムに合わせてギャロップをしたり、歩いたりしながら歌う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・もちつき（☆☆）</li><li>・ゆき（☆☆）</li><li>・ふじ山（小共）</li><li>・おおきなかぶ（☆☆）</li></ul>	<u>知・技 A 表現ア（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>思・表・判 A 表現ア（ア）</u>
		<p>（身体表現）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「てをたたきましょう」では、教師が歌や身体表現を繰り返して示範し、曲に親しめるようにする。</li><li>・「てをたたきましょう」では、前半は、リズムに合わせて手拍子や足踏みなどをするようにする。後半は、歌詞に合わせて「わらう」「おこる」「なく」といった身体表現を行うようにする。</li><li>・「おおきなかぶ」では、曲の途中で出てくる「まご」「いぬ」「ねこ」などの登場人物の名前や、「よいしょよいしょ」などの掛け声の部分を曲に合わせて歌う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・てをたたきましょう（☆☆）</li><li>・おおきなかぶ（☆☆）</li><li>・はなまるおんせん</li><li>・かなづちトントン</li><li>・もちつき（☆☆）</li></ul>	<u>知・技 A 表現エ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現エ（ア）</u>
		<p>（器楽）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「もちつき」では、もちをつく人と合い取りをする人をイメージしながら、教科書の絵譜を見て太鼓を演奏できるようにする。</li><li>・「てをたたきましょう」では、慣れてきたら、タンブリンやカスタネットなどの打楽器を用いてリズムの演奏をできるようにする。</li><li>・好きな打楽器を選んで、歌に合わせて演奏するようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・てをたたきましょう（☆☆）</li></ul>	<u>知・技 A 表現イ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現イ（ア）</u>
		<p>（鑑賞）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「おおきなかぶ」では、絵本の読み聞かせを行い、出てくる言葉や物語の簡単な展開を知る。</li><li>・教師の範唱を聴きながら、おおきなかぶの物語を鑑賞する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・おおきなかぶ（☆☆）</li></ul>	<u>知・技 B 鑑賞ア（ア）</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア（イ）</u>
2月	うたってあそんで（7）	<p>（歌唱）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「うれしいひなまつり」では、教科書の挿絵のひな段飾りの実物や写真などを示しながら、範唱する。</li><li>・ひな段飾りの人形に、歌詞の言葉を書いたカードを対応させて貼り、歌詞が表す内容について理解できるようにする。</li><li>・パネルシアターを用いて、教師のうたに合わせてひな段飾りを1段ずつ完成させていくようにする。</li><li>・1フレーズずつ教師の範唱を模唱するようにする。</li><li>・「五人ばやし」「お内裏様」「おひな様」「官女」「右大臣」など、歌詞に登場する人形を描いたペープサートを揺らしながら、歌うようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・うれしいひなまつり（☆☆）</li><li>・鬼のパンツ</li><li>・がらがらがらがらがらぺっ</li><li>・ビリーブ</li></ul>	<u>知・技 A 表現ア（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>思・表・判 A 表現ア（ア）</u>
		<p>（身体表現）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「エビカニクス」では、「エビ」「カニ」の姿や動きの特徴をイラストや写真で確認するようにする。</li><li>・教師が手本を示し、振り付けを確認するようにする。</li><li>・教師と一緒に歌いながら、手足の動きを覚えていくようにする。</li><li>・「エビ」や「カニ」のポーズをするところでは、イラストや写真を示し、どんなポーズをするのかを考えたり、決めたりするようにする。</li><li>・ピアノの伴奏などに合わせて、教師や友達と一緒に小渡津ようにする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・鬼のパンツ</li><li>・エビカニクス（☆☆）</li></ul>	<u>知・技 A 表現エ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現エ（ア）</u>
		<p>（器楽）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「みんなでならすがっきのうた」では、円形や扇形に座って自由に楽器をならすようにする。</li><li>・順番に楽器を鳴らす、1人ずつ楽器を鳴らす、いろいろなルールで楽器を鳴らすようにする。</li><li>・リズムパターンの教師による範奏を聴き、さらに様々なリズムを体感するようにする。</li><li>・小集団でリズムパターンを選択したり、新しいリズムパターンを考えたりして演奏する。</li><li>・教師の演奏する旋律に合わせて、児童が自ら考えたリズムパターンを演奏し、教師は録音をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・しろくまのジェンガ</li></ul>	<u>知・技 A 表現イ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊨</u> <u>思・表・判 A 表現イ（ア）</u>
		<p>（鑑賞）</p>		<u>知・技 B 鑑賞ア（ア）</u>

		・「みんなでならすがっきのうた」では、教師の演奏する旋律に合わせて、児童が自ら考えたリズムパターンを演奏し、教師は録音をして、それを鑑賞する。	・みんなでならすがっきのうた（☆☆）	<u>思・表・判 B鑑賞ア（イ）</u>
3月	みんなであわせよう（6）	（歌唱） ・国歌「君が代」は、日本国憲法の下において、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の末永い繁栄と平和を祈念した歌であることを踏まえるようにする。	・あの青いそらのように ・旅立ちの日に ・みやざき中央支援学校校歌 ・君が代（☆☆） ・みんなともだち	<u>知・技 A表現ア（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>思・表・判 A表現ア（ア）</u>
		（身体表現）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 A表現エ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A表現エ（ア）</u>
		（器楽）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 A表現イ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A表現イ（ア）</u>
		（鑑賞）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 B鑑賞ア（ア）</u> <u>思・表・判 B鑑賞ア（イ）</u>
年間を通して				

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	4	I ・ II	音楽	I II （7 0）	小学部 2 段階





目 標	知識及び技能	曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気づくとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に楽しく関わり、教師と一緒に音楽活動する楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(5)	(歌唱) ・範唱を聴きながら、手拍子を打ち、拍子感やフレーズ感を感じ取ることができるようにする。 ・イラストを示して、歌詞の内容(ストーリー)の理解を促すようにする。 ・範唱を聴いた後、前半の旋律では教師と児童で交互唱えができるようにする。 ・後半の旋律の言葉のもつリズムを楽しめるようにする。発語が苦手な児童の場合は、打楽器で拍打ちをするようにする。	・みやざき中央支援学校校歌  ・春が来た(特小共)  ・春の小川(特共)  ・さくらさくら(小共) ・ぶんぶんぶん(☆☆) ・アイアイ(☆☆) ・もりのくまさん(☆☆) ・ぱぱぱのうた(☆☆) ・こぶたぬきつねこ(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・音楽を聴きながら跳んだり、走り回ったり、いくつかの動作を組み合わせて曲の楽しさを身体全体で感じるようにする。 ・教師による電車ごっこを見て、期待感を高められるようにする。 ・「かもつ列車」では、電車ごっこをして、出発進行の合図を笛や打楽器で鳴らすようにする。	・ふうせん ・かもつ列車(☆☆) ・アイアイ(☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(器楽) ・教師や友達と一緒にリズムの違いを感じて演奏する。 ・児童はそれぞれのパートに分かれてリズムの違いを感じて演奏する。	・みんなでみつつ ・ぱぱぱのうた(☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(鑑賞) ・教師の示す絵本やペープサート、挿絵、パネルシアターを歌とともに鑑賞するようにする。 ・「月曜日」や「〇〇を食べました」などの特徴的な歌詞と旋律部分を、教師や友達と一緒に歌って楽しむようにする。	・はらぺこあおむし(☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
5 月	みんなでうたおう(6)	(歌唱) ・挿絵やパネルシアターを示すと同時に歌詞を覚えられるようにする。	・ドレミのうた(☆☆) ・まきばの朝(小共) ・燃えろ運動会 ・うんどうかい(☆☆) ・はしるのだいすき(☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・曲を聴き、身体表現を交えながら音の高低を意識した動きを表現するようにする。 例:「ドはドーナツのド」→しゃがんで手は足の甲を拍に合わせて叩く。	・しあわせなら手をたたこう ・かぜよふけふけ ・茶つみ(小共) ・ドレミのうた(☆☆) ・うんどうかい(☆☆) ・はしるのだいすき(☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)

		<p>(器楽)</p> <p>・音名に合わせて(卓上ベル・ミュージックパッド・木琴など)の楽器を鳴らすようにする。</p> <p>・「しあわせなら手をたたこう」では、タンブリンや鈴など身近な楽器を使ってリズム打ちをするようにつなげる。</p>	<p>・ドレミのうた(☆☆)</p> <p>・しあわせなら手をたたこう</p> <p>・うんどうかい(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <p>・教師の示すペープサートや挿絵、パネルシアターを歌とともに鑑賞するようにする。</p> <p>・「おはよう」や「あかい」などの特徴的な歌詞と旋律部分を教師や友達と一緒に歌って楽しめるようにする。</p>	<p>・おはようくれよん(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u></p> <p><u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
6 月	おとであそぼう(7)	<p>(歌唱)</p> <p>・「あめふりくまのこ」では、挿絵やペープサートを示しながら、熊の子の可愛らしい仕草や情景が思い浮かぶように範唱する。</p> <p>・「とけいのうた」では、様々な時計やメトロノームの音などを実際に聴き、時計や時計の音に対するイメージをもてるようにする。</p> <p>・「シャボン玉とばせ」では、挿絵の中の好きな動物を選んで歌ったり、挿絵にない動物を取り上げて歌ったり、動物を自分に置き換えて歌ったりするようにする。</p>	<p>・あめふりくまのこ(☆☆)</p> <p>・あめふり水族館(☆☆)</p> <p>・かえるのがっしょう</p> <p>・とけいのうた(☆☆)</p> <p>・おおきな古時計(☆☆)</p> <p>・にじ</p> <p>・しゃぼんだまとばせ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <p>・「あめふりくまのこ」では、「そうっとのぞく」「おみずをのむ」などの簡単な動作を熊の子になったつもりで音楽に合わせて表現できるようにする。</p> <p>・「あめふり水族館」では、レインコートや長靴を身につけ、曲に合わせて傘を回すなどの身体表現をしながら聴くようにする。</p>	<p>・あめふりくまのこ(☆☆)</p> <p>・しゃぼんだまとばせ(☆☆)</p> <p>・あめふり水族館(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <p>・一つの楽器を複数の鳴らし方で音を出し、同じ楽器でもたたき方や鳴らし方によって音が変わることに気づくようにする。また、速さや強弱、リズムを変えた表現方法を試みるようにする。</p> <p>・卓球のボール、レインスティックなどの身近な道具や打楽器を鳴らして、音の特徴を楽しむようにする。</p>	<p>・あめのおとをならしてみよう(☆☆)</p> <p>・あまだれ(☆☆) 器 音</p> <p>・プールでちゃっぷん(☆☆) 身</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <p>・小雨と大雨などの違いが分かりやすい雨だれの映像を見たり、雨音を聞いたりするようにする。</p> <p>・教科書の挿絵や雨の街の風景写真、動画などを示し、雨が降る街の様子を十分にイメージできるようにする。</p>	<p>・あめのおとをならしてみよう(☆☆)</p> <p>・あめふり水族館(☆☆)</p> <p>・しゃぼんだまとばせ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u></p> <p><u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
7 月	うたっておどって(6)	<p>(歌唱)</p> <p>・「かれーらいす」では、材料や道具を表すペープサートやパネルシアターを示したり、野菜の絵を動かしたりしながら範唱する。</p> <p>・「かれーらいす」では、鍋に材料を入れる児童、歌唱する児童に分かれて、役割を交代しながら、教師や友達と一緒に歌唱するようにする。</p> <p>・教師の範唱の後について、掛け合いの部分进行を歌うようにする。</p>	<p>・きらきらぼし</p> <p>・かいかにひとで</p> <p>・うみのおさかなたいそう</p> <p>・カレーライス(☆☆)</p> <p>・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <p>・「かれーらいす」では、道具や材料などの具体物(野菜の模型など)を児童が切ったり、次々に鍋に入れてぐつぐつ煮込んだりして、調理の様子を身体表現するようにする。</p> <p>・</p>	<p>・カレーライス(☆☆)</p> <p>・ひまわりハッピー</p> <p>・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆)</p> <p>・うみのおさかなたいそう</p> <p>・せんたく(☆☆) 身</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <p>・「みなみの島のハメハメハ大王」では、教師と一緒に楽器を鳴らしながら歌うようにする。</p>	<p>・きらきらぼし</p> <p>・みなみの島のハメハメハ大王(☆☆)</p> <p>・うみのおとをならそう</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u></p> <p><u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>



		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>材料や道具を示すペープサートやパネルシアターを示したり、野菜の絵を動かしたりしながら範唱する。</li><li>「みなみの島のハメハメハ大王」では、1 番から 4 番まで、教師が歌いながら身体表現をする様子を見るようにする。</li><li>「みなみの島のハメハメハ大王」では、教師の範唱と一緒に教科書のイラストやパナエルシアターを見る。</li></ul>	<p>・カレーライス(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
9月	りずむにあわせて(6)	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>月の静止画や影絵、パネルシアターなどを用いて、視覚的に月のうさぎをイメージできるようにしながら範唱する。</li><li>うさぎのお面を被ったり、うさぎの耳に見立てて手をつけたりしながら、歌詞に合わせて跳ねたり、体を左右に揺らせたりする動きで身体表現をするようにする。</li><li>教師の範唱に合わせて、「うさぎうさぎ」や「ぐーちーぱー」、「ほれほれほれほれ」、「きききのこ」の部分など歌いやすいフレーズを歌唱するようにする。</li><li>キノコの挿絵や紅葉、すすきなどの映像を見て、秋の雰囲気を感じられるようにする。</li></ul>	<p>・やきいもグーチーパー(☆☆)</p> <p>・ふしぎなポケット(☆☆)</p> <p>・うさぎ(小共)</p> <p>・いもほれホーレ</p> <p>・きのこ(☆☆)</p> <p>・さつまのおいも</p> <p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「きのこ」では、模範に合わせて、自由に手足を動かして身体表現をする。</li></ul>	<p>・やきいもグーチーパー(☆☆)</p> <p>・ほれほれもぐら</p> <p>・きのこ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>動物たちがならす楽器の違いに気付けるようにする。</li><li>歌庭瀬手、動物の鳴らす音の部分を一緒に歌うようにする。</li><li>「●●●○」の絵譜を見ながらリズムパターンを手拍子し、徐々に歌に合わせられるようにする。</li></ul>	<p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ポケットにビスケットが入っているイラストを用意し、増えていく様子を示しながら範唱する。</li><li>「ひとつ」や「ふたつ」等、曲の一部分を歌う練習をするようにする。</li><li>「ポケットの中には○○○がひとつ」の○○○の部分に。児童が自分の欲しい物を入れて歌うようにする。</li></ul>	<p>・ふしぎなポケット(☆☆)</p> <p>・さつまのおいも</p> <p>・やまの音楽家(☆☆)</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>
10月	がっきをならそう(7)	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>様々な秋の虫や鳴き声を表現することができるようにする。</li><li>とんびが空を雄大に飛び回る映像を見て、イメージしながら歌唱するようにする。</li></ul>	<p>・むしのこえ(特小共)</p> <p>・とんび(小共)</p> <p>・もみじ(小共)</p> <p>・くるりんぱっぱ</p>	<p><u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「●●●○」と「●●●○」の絵譜を見ながら、教師の歌の後について「ちゃちゃちゃ」の部分进行を歌うようにする。慣れてきたら「ちゃちゃちゃ」の部分を手拍子で演奏するようにする。</li><li>打楽器を使って「ちゃちゃちゃ」の部分进行を演奏するようにする。</li><li>8分音符(♪♪♪♪)を演奏するグループと4分音符(♪♪♪♪)を演奏するグループに分かれて、2つのリズムの違いを十分に味わいながら演奏できるようにする。</li><li>好きな楽器を選び、全員で合奏するようにする。</li><li>4分音符(♪♪♪♪)や(♩♪♪♪)など様々なリズムの違いを味わいながら、演奏できるようにする。</li></ul>	<p>・またあそぼ(☆☆)</p> <p>・おもちゃのチャチャチャ(☆☆)</p>	<p><u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>模範に合わせて、自由に手足を動かして身体表現をする。</li></ul>	<p>・おおきくいっぱ</p> <p>・てびょうし音楽会</p>	<p><u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>挿絵やイラストなどを見ながらイメージがもてるようにする。</li></ul>	<p>・ぼうしぼうし</p>	<p><u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u></p>

11月	ひびきあいをたのしもう(7)	(歌唱) ・教師が歌を範唱し、その歌に合わせて、提示する絵を見て、楽しむようにする。 ・教師が歌を範唱しながら、曲の流れに合わせてホワイトボードにイラストを順に掲示していく。 ・歌詞にあるものや動物などの振りを曲に合わせて身体表現をして楽しむようにする。 ・曲や数字の理解が進んできた児童には、歌詞に合わせて児童が自分ではりながら歌って楽しめるようにする。 ・身近な材料や用具を使って児童が數位じゃ数字に似たイラストを描き、それを歌いながらホワイトボードに貼っていくようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・たこにゆうどう(☆☆) ・チャチャチャのリズム ・あくびのうた ・おおきなうた ・トランペットふきの休日	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>
		(器楽) ・教師の範奏を見たり聴いたりするようにする。 ・「  」や「  」のリズムで、手拍子をしたり、一斉あるいは、順番に交代しながら演奏するようにする。 ・身近な打楽器を準備し、好きな楽器を選ぶようにする。 ・音量に少しずつ変化を加えて、音の強弱やリズムの違いを分かりやすく演奏し、リズムの楽しさを感じ取れるようにする。	・たぬきのたいこ(☆☆) ・ちゃちゃちゃはすばらしい(☆☆) ・チャチャチャのリズム	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u>
		(身体表現) ・音楽に合わせて、手拍子を打ったり、隣の友達と手拍子を打ったり、手で膝を打つなどの身体表現をするようにする。 ・ポルカの音楽に合わせた舞踊の映像を見たり、教師が楽しく踊ったりする様子を見るようにする。 ・曲を聴きながら、自由に身体表現するようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・くらりねっとぼるか(☆☆)	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・楽器のイラストを示し、クラリネットについてしるようにする。 ・曲を聴きながら、軽快なテンポのメロディーに合わせて体を左右に揺らすようにする。 ・クラリネットの独奏や重奏で演奏している映像を鑑賞するようにする。	・すうじのうた(☆☆) ・たこにゆうどう(☆☆) ・ほしにねがい(☆☆) ・くらりねっとぼるか(☆☆) ・トランペットふきの休日	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>
12月	いろいろなおんがく(6)	(歌唱) ・教師が歌を範唱し、その歌に合わせて、提示する絵を見て、楽しむようにする。 ・冬の街の様子を見たり、年の瀬の曲を聞いたりしながら、年末を感じることができるようにする。	・あわてんぼうのサンタクロース ・ジングルベル ・あっという間にクリスマス ・きよしこの夜 ・十二支のうた ・おしょうがつ(☆☆)	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>
		(器楽) ・「  」や「  」のリズムで、手拍子をしたり、一斉あるいは、順番に交代しながら演奏するようにする。	・きよしこの夜 ・あわてんぼうのサンタクロース ・ジングルベル ・かねがなる(☆☆)	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ(ア)</u>
		(身体表現) ・曲のフレーズに合わせて、体の部位をくねらせて表現するようにする。	・すけ一た一ず わるつ(☆☆)	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・スケートをしている人々の写真や DVD 映像を見て、イメージを広げられるようにする。 ・体の揺らし方を工夫しながら、3拍子に合わせて鑑賞するようにする。 ・躍動的にステップを踏んだり、ジャンプをしたりする等して鑑賞するようにする。 ワルツのリズムに合わせて教師や友達と一緒にからだを動かしたり、教師や友達と手をつないで体を揺らしたり、部分的に跳ねたりなどして鑑賞するようにする。	・すけ一た一ず わるつ(☆☆)	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>

1月	うたってあそんで(7)	(歌唱) ・「もちつき」では、餅つきをしている教科書の挿絵や写真、動画で餅つきの様子を示し、イメージをたかめられるようにする。 ・教師の範唱を聴いて、手拍子をしたり、歌を覚えて斉唱したりする。 ・「ゆき」では、雪の降る映像や雪が積もった景色の画像を見ながら曲を聴き、イメージを膨らませることができるようにする。 ・教師が「ゆきや」と歌い、児童が「こんこ」とこたえるように歌うようにする。 ・少しずつ、1 番を通して歌えるようにする。 ・「ゆき」のリズムに合わせてギャロップをしたり、歩いたりしながら歌う。	・もちつき(☆☆) ・ゆき(☆☆) ・ふじ山(小共) ・おおきなかぶ(☆☆)	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>
		(身体表現) ・「てをたたきましょう」では、教師が歌や身体表現を繰り返して示範し、曲に親しめるようにする。 ・「てをたたきましょう」では、前半は、リズムに合わせて手拍子や足踏みなどをするようにする。後半は、歌詞に合わせて「わらう」「おこる」「なく」といった身体表現を行うようにする。 ・「おおきなかぶ」では、曲の途中で出てくる「まご」「いぬ」「ねこ」などの登場人物の名前や、「よいしょよいしょ」などの掛け声の部分を曲に合わせて歌う。	・てをたたきましょう (☆☆) ・おおきなかぶ (☆☆) ・はなまるおんせん ・かなづちトントン ・もちつき (☆☆)	<u>知・技 A 表現エ (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ (ア)</u>
		(器楽) ・「もちつき」では、もちをつく人と合い取りをする人をイメージしながら、教科書の絵譜を見て太鼓を演奏できるようにする。 ・「てをたたきましょう」では、慣れてきたら、タンブリンやカスタネットなどの打楽器を用いてリズムの演奏をできるようにする。 ・好きな打楽器を選んで、歌に合わせて演奏するようにする。	・てをたたきましょう (☆☆)	<u>知・技 A 表現イ (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ (ア)</u>
		(鑑賞) ・「おおきなかぶ」では、絵本の読み聞かせを行い、出てくる言葉や物語の簡単な展開を知る。 ・教師の範唱を聴きながら、おおきなかぶの物語を鑑賞する。	・おおきなかぶ (☆☆)	<u>知・技 B 鑑賞ア (ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア (イ)</u>
2月	うたってあそんで (7)	(歌唱) ・「うれしいひなまつり」では、教科書の挿絵のひな段飾りの実物や写真などを示しながら、範唱する。 ・ひな段飾りの人形に、歌詞の言葉を書いたカードを対応させて貼り、歌詞が表す内容について理解できるようにする。 ・パネルシアターを用いて、教師のうたに合わせてひな段飾りを1 段ずつ完成させていくようにする。 ・1 フレーズずつ教師の範唱を模唱するようにする。 ・「五人ばやし」「お内裏様」「おひな様」「官女」「右大臣」など、歌詞に登場する人形を描いたペープサートを揺らしながら、歌うようにする。	・うれしいひなまつり (☆☆) ・鬼のパンツ ・がらがらがらべっ ・ビリーブ	<u>知・技 A 表現ア (イ) ㊦㊧ (ウ)</u> <u>思・表・判 A 表現ア (ア)</u>
		(身体表現) ・「エビカニクス」では、「エビ」「カニ」の姿や動きの特徴をイラストや写真で確認するようにする。 ・教師が手本を示し、振り付けを確認するようにする。 ・教師と一緒に歌いながら、手足の動きを覚えていくようにする。 ・「エビ」や「カニ」のポーズをするところでは、イラストや写真を示し、どんなポーズをするのかを考えたり、決めたりするようにする。 ・ピアノの伴奏などに合わせて、教師や友達と一緒に小渡津ようにする。	・鬼のパンツ ・エビカニクス (☆☆)	<u>知・技 A 表現エ (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ (ア)</u>
		(器楽) ・「みんなでならすがっきのうた」では、円形や扇形に座って自由に楽器をならすようにする。 ・順番に楽器を鳴らす、1 人ずつ楽器を鳴らす、いろいろなルールで楽器を鳴らすようにする。 ・リズムパターンの教師による範奏を聴き、さらに様々なリズムを体感するようにする。 ・小集団でリズムパターンを選択したり、新しいリズムパターンを考えたりして演奏する。 ・教師の演奏する旋律に合わせて、児童が自ら考えたリズムパターンを演奏し、教師は録音をする。	・しろくまのジェンガ	<u>知・技 A 表現イ (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A 表現イ (ア)</u>
		(鑑賞)		<u>知・技 B 鑑賞ア (ア)</u>

		・「みんなでならすがっきのうた」では、教師の演奏する旋律に合わせて、児童が自ら考えたリズムパターンを演奏し、教師は録音をして、それを鑑賞する。	・みんなでならすがっきのうた（☆☆）	<u>思・表・判 B鑑賞ア（イ）</u>
3月	みんなであわせよう（6）	（歌唱） ・国歌「君が代」は、日本国憲法の下において、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の末永い繁栄と平和を祈念した歌であることを踏まえるようにする。	・あの青いそらのように ・旅立ちの日に ・みやざき中央支援学校校歌 ・君が代（☆☆） ・みんなともだち	<u>知・技 A表現ア（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>思・表・判 A表現ア（ア）</u>
		（身体表現）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 A表現エ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A表現エ（ア）</u>
		（器楽）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 A表現イ（イ）㊦㊧（ウ）</u> <u>㊦㊧㊦</u> <u>思・表・判 A表現イ（ア）</u>
		（鑑賞）一年間のまとめ・振り返り		<u>知・技 B鑑賞ア（ア）</u> <u>思・表・判 B鑑賞ア（イ）</u>
年間を通して				

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	5	I ・ II	音楽	I II （7 0）	小学部 3 段階

目標	知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(5)	(歌唱) ・春を思わせる花や蝶や小さな魚などのペープサートを準備し好きなペープサートを選び、それを持って、身体で拍を感じながら歌う。 ・「ともだちになるために」では、友達を指差す動作を取り入れ、友達を意識しながら歌う。	・みやざき中央支援学校校歌  ・はるのかぜ(☆☆☆)  ・はるがきた(☆☆☆)  ・ともだちになるために(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・手拍子、カスタネットやタンブリンなどの打楽器でタイミングを合わせて打つ練習をする。	・パレード(☆☆☆)  ・たのしいね(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・伴奏と歌に合わせて歩く。 ・歌詞に合わせた振り付けで踊る。	・さんぽ(☆☆☆)  ・ギャロップでおどろう(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・桜が咲いている写真や映像を見て、花の美しさや春の訪れを具体的にイメージする。	・さくらさくら(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
5 月	みんなでうたおう(6)	(歌唱) ・こいのぼりの映像や実物を見て歌詞の意味を確認しながら歌う。 ・運動会に関連した音楽では、元気よく大きな動きを模倣しながら歌う。 ・歌詞の覚えにくい部分はハンドブレイをしながら歌う。	・こいのぼり(小共)  ・うんどうかい(☆☆)  ・はしるのだいすき(☆☆)  ・てのひらを太陽に(☆☆☆)  ・おぼろ月夜(小共)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・歌詞の「たん」の部分ボディパーカッションしたり、打楽器で打ったりする。タン・タタタンの部分を高度な打ち方を工夫する。 ・リズム譜を見ながら、教師の真似をして打楽器で簡単なリズム打ちをする。	・ぼくのミックスジュース(☆☆☆)  ・あさおきたん	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・3拍子のリズムを体全体で感じながら身体を左右に揺らしたり、歌詞に合わせて回ったりして楽しく踊る。 ・「せんろはつづくよどこまでも」では、友達の肩に両手をかけつなげたり、フラフープやロープをつなげたりして、列車に見立てて歌いながら歩く。 ・自分の身体部位を触れるように歌ったり、順番に手をつないだり、隣の人とタッピングしたりして輪になる。	・おどろう楽しいポーレチケ(☆☆☆)  ・せんろはつづくよどこまでも(☆☆☆)  ・てとてとてと(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・「オズの魔法使い」の絵本等を見て情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	・オーバーザーレインボー(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
6 月	おとであそぼう(7)	(歌唱) ・「かえるのがっしょう」では、歌詞唱や階名唱をして旋律を覚え、全体で輪唱したり、輪奏したりしてリズムの面白さを表現する。 ・雨の日の風景写真や映像、傘やレインコートなどの具体的な物を見ることで、雨の日のイメージをもつ。	・かえるのがっしょう(☆☆☆)  ・にじ(☆☆☆)  ・あめのワルツ  ・だからあめふり	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)

		(器楽) ・「雨の音楽をつくろう」では、レインスティックや水風船などの手作り楽器を鳴らして、雨の様子をイメージしながら音楽をつくる。	・雨の音楽をつくろう(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア) 知・技 A エ表現(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(身体表現) ・曲に合わせて歩いたり、身体を揺すったりして、時を刻む時計のイメージやリズムのおもしろさを感じる。	・シンコペーテッドクロック(☆☆☆)	
		(鑑賞) ・雨の季節の情景を思い浮かべながら、パネルシアターやパワーポイントを利用してゆったりと鑑賞する。	・あめふりくまのこ(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
7月	うたっておどって(6)	(歌唱) ・絵や写真、映像などを用いて歌詞に登場する夏の景色や動物をイメージしながら歌う。 ・動物の絵カードやペープサートを見ながら動物の鳴き声を真似する。 ・「大きなうた」では、輪唱の形式で歌う個所と一緒に歌う個所を意識して歌い分ける。	・ピクニック(☆☆☆) ・ゆかいなまきば(☆☆☆) ・なつの山(☆☆☆) ・大きなうた(☆☆☆) ・われは海の子(小共)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・階名唱をして旋律を覚え、色音符とマッチングさせながら旋律楽器で部分奏や旋律奏をする。 ・手拍子や打楽器で3拍子のリズム打ちを練習し、曲に合わせて3拍子のリズムをとる。	・きらきらぼし(☆☆☆) ・もしもこっくさんだったら(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・音楽に合わせて走り、中間部は足を止めて身体を左右に大きく揺すりながら歌う。	・テルテルボーイズ(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・暗くした部屋で心を落ち着かせて、パワーポイントやブラックシアターを見ながら、イメージをもって鑑賞する。	・ほしにねがいを(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
9月	りずむにあわせて(6)	(歌唱) ・映像やCDなどで山びこのイメージをつかみ、山びこのまねをして、楽しく発声練習をして歌う。 ・明るい曲調と、ゆっくりしたテンポを感じながら、8小節ずつ区切って歌ったり、教師の範唱を聞いたりして歌うようにする。 ・すすき、柿の実、焼き栗など歌詞に歌われている物事に触れたり、名称を知ったりして、歌詞に表されている内容が理解できる。	・山びこごっこ(☆☆☆) ・きみのこえ(☆☆☆) ・あきの子(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・「こいこいこい」などの繰り返しの言葉を覚え、楽しく歌い、「寺」「和尚さん」「狸」などの歌詞に関する映像や写真などを見て、歌詞に表されている状況が理解できる。また、リズムに合わせて楽器をならすことができる。	・しょうじょうじのためきばやし(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊧(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・3拍子を感じ取りながら、教師の動作を模倣して覚え、テンポを上げたり、登場人物を変えたりして楽しく表現できる。 ・教科書のイラストや映像を見たり、教師による動作を手本にしたりして、歌に合わせて体を動かすことができ、ペープサートや指人形などを見て、身体表現のイメージを高めていき、歌とともにパントマイムも楽しむ。 ・映像などを見ながら赤鬼と青鬼がタンゴを踊っている様子をイメージし、身体を使ってどう表せばよいか考えて踊ったり、休符部分「ウン」のところで合いの手を入れたりして楽しく表現する。	・だいくのきつつきさん(☆☆☆) ・山ごやいっけん(☆☆☆)  ・赤おにと青おにのタンゴ(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊧(ウ)㊦㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・映像を見ながら想像を膨らませ、第1部から第3部までの違いを感じながら鑑賞する。	・子犬のワルツ(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
10月	がっきをならそう(7)	(歌唱) ・いろいろなサンバの曲を聴いたり、カーニバルの映像を見たりして、サンバで使用されている楽器の音やサンバの雰囲気を感じる。 ・「まっか」「つたのは」「もみじ」「まっかなほっぺ」など、キーワードとなる言葉について写真やイラストなどを見て理解しながら歌い、声の強弱の付け方や音の重なり具合を工夫する。 ・ゆったりとした曲調を感じ、秋の夕暮れや夕焼け雲がどのようなものか、映像を見てイメージを膨らませながら歌うことができる。	・あさまでサンバ(☆☆☆) ・まっかなあき(☆☆☆) ・夕やけこやけ(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊧ エ(イ)㊧(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現 イ(ア)エ(ア)

		(歌唱・器楽) ・泉の精「オーラリー」を読んでいる情景を、教科書のイラストや映像を見てイメージし、トーンチャイムやハンドベル、バチを持ち、曲に合わせて音を出し、音の重なりを楽しむ。 ・祭りの楽しい様子を想像できるように、各地の祭りの様子を映像で見たりして、雰囲気やイメージを感じる。また、はっぴを着せたり、楽器を鳴らしたりし、楽しみながら実際の祭りを感じることができるようにする。 ・実際に虫の声を聞かせて、イメージをふくらませ季節感を味わう。また、楽器を使って虫の声を表し、表現する楽しさを味わうことができる。	・オーラリー(☆☆☆)  ・村まつり(☆☆☆)(小共)  ・虫のこえ(☆☆☆)	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A イ(ア)エ(ア)</u>
		(身体表現) ・津軽地方の荒馬踊りの映像を見て、「ラッセラー、ラッセラー」「ラッセラッセラー」のかけ声に合わせて荒馬踊りを練習する。	・あらうま(☆☆☆)	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・自分自身を人形に見立てて、跳んだりギャロップしたりなどして曲に合った動きをしてみる。また、友達と向かい合ったり円になったりしてそれぞれの表現を認め合う。 ・映像や、実際に紅葉や木の実などを見ながら、秋のイメージを膨らませて、曲に親しむことができる。	・ゴリウォーグのケーキウォーク(☆☆☆) ・小さい秋みつけた	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>
1 1 月	ひびきあいをたのしもう(7)	(歌唱) ・世界のいろいろな国の写真などを見て世界の国に対して興味を持ち、その国の楽曲を聞いたりして、外国の歌や文化に触れる経験がもてるようにする。また、手話にもチャレンジし、表現の仕方を学べることができるようにする。 ・映像などを見ながらイメージを持ち、実際にこぎつねと触れあっているような優しい気持ちを持って歌うことができる。	・おんがくのおくりもの(☆☆☆) ・小さな世界(☆☆☆) ・世界中の子どもたちが(☆☆☆) ・こぎつね	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>思・表・判 A 表現 ア(ア)</u>
		(器楽) ・歌唱に簡単な動作を併せて身体表現をしたり、リズムの面白さを感じてリズム打ちをしたりする。 ・ジャズ特有のリズムやマーチのリズムを感じ取り、鍵盤楽器や打楽器を用いてリズムを表現できるようにする。	・ちゃいろの小びん(☆☆☆) ・ミッキーマウスマーチ(☆☆☆)	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A 表現 イ(ア)</u>
		(身体表現) ・2人1組になり、音楽に合わせて映像を見たり教師の模倣をしたりしながら、楽しく身体を動かす。	・おいもの天ぷら	<u>知・技 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・映像を見ながら、イメージを膨らませて聴き、声の響きを感じることができる。	・きみをのせて	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>
1 2 月	いろいろなおんがく(6)	(歌唱) ・視覚教材などで冬のようすをイメージしながら歌うことができるようにする。 ・教師の話や視覚教材などでふるさとについてのイメージを持ちながら、丁寧に歌うことができる。 ・サウンドオブミュージックは、☆☆のドレミの歌を歌いながら、その曲の面白さに気付いて歌えるようにする。また、ミュージカルの曲なので、登場人物やストーリーなど、物語のダイジェストを絵カードや写真で見たりして、イメージを膨らまして歌うことができる。	・冬げしき(小共) ・スキーの歌(小共) ・ふるさと(小共) ・サウンドオブミュージック(☆☆☆)	<u>知・技 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)エ(ア)</u>
		(身体表現) ・だ・る・ま・さんがおどったは、日本のわらべ歌のアレンジになっていることから、最初は「にらめっこ(だるまん)」を実際に遊んだりする。歌詞に出てくる世界のダンスを学び、実際に歌いながら踊ることができるようにする。	・だ、る、まさんがおどった(☆☆☆)	<u>知・技能 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A 表現エ(ア)</u>
		(器楽) ・クリスマスの楽しい雰囲気を感じながら曲に合わせて鈴をならしたりする。	・サンタが街にやってくる	<u>知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>思・表・判 A 表現 イ(ア)</u>
		(歌唱・鑑賞) ・映像を見たり、教師の話を読んだりし、クリスマスやサンタのイメージを膨らませ、楽しみながらリズムを感じることができる。	・サンタはいそがしい ・きよしこの夜	<u>知・技 B 鑑賞ア(ア)</u> <u>思・表・判 B 鑑賞ア(イ)</u>
1 月	うたってあそんで(7)	(歌唱) ・映像やパネルシアターなどを見て、日本には十二支があることを知り、途中で手拍子をしながらか楽しく歌い、十二支を覚えることができる。また、今年の干支について興味を持つことができるようにする。 ・歌詞の意味を知り、宮崎県の民謡に親しむことができる。	・十二支の歌 ・エトはメリーゴーランド ・ひえつき節	<u>知・技能 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>思・表・判 A 表現ア(ア)</u>

		(身体表現) ・かくれんぼの遊びを確認し、不織布などを使って、実際にかくれんぼの真似をしながら、歌のイメージを膨らませ、楽しく歌うことができる。 ・昔からある童歌に親しみ、「勝つ」「負ける」「あいこ」をジェスチャーし、相手に合わせた動きをしたり、異なる動作をしたりして、様々な表現を楽しむ。 ・映像や教師の動きをみて、楽しく大きな動作で踊ることができる。	・かくれんぼ(☆☆☆)(特小共) ・ひらいたひらいた ・おちやらかほい(☆☆☆)  ・おにのパンツ	知・技能 <u>A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・教師の話の聞いたり映像を見たりして、正月のイメージを持ちながら、日本の伝統楽器に親しむことができる。	・春の海	知・技 <u>B 鑑賞ア(ア)</u> 思・表・判 <u>B 鑑賞ア(イ)</u>
2 月	うたってあそんで(7)	(歌唱) ・教師の話の聞いて子守歌がどのようなものかを知り、優しい気持ちで歌うことができる。 ・パネルシアターを見ながら、教師の歌いかけに応じ、交互唱の歌い方を理解する。 ・挿絵や視覚的な補助教材を見て、冬や北風などのイメージを膨らませて歌えるようにし、戸外の冬の表現を探したりする。 ・冬の寒い風を感じたり、「寒太郎」というフレーズを大きな声で言ったりしながら、冬の雰囲気を楽しんで歌うようにする。 ・冬と春の違いについて対比しながら話し、歌詞を味わいながら教師の範唱を聴き、反復唱をしながら練習をする。	・子もり歌(小共) ・やおやのおみせ(☆☆☆) ・北風小僧の寒太郎(☆☆☆)  ・どこかで春が(☆☆☆)	知・技 <u>A 表現ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現ア(ア)イ(ア)</u>
		(器楽 ) ・歌詞の内容をイメージできるよう、ペープサートやエプロンソアターなどで、小熊の様子をイメージする。 ・鍵盤に音名やシール等を貼ってもらい、教師と一緒に演奏することができる。	・こぐまの2月(☆☆☆)	知・技 <u>A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現 イ(ア)</u>
		(身体表現) ・どのくらいの力でおしたりすればよいか練習をし、教師や他の児童と一緒に楽しく活動を行えるようにする。 ・リズムカルなテンポの曲に合わせて、教師や他の児童と一緒に楽しみながら表現し、歌詞や教師の声かけにより凍ったり、歩いたりする動きを工夫することができるようにする。	・おしくらまんじゅう(☆☆☆) ・こおっちゃう	知・技能 <u>A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・絵本を見たり、映像を視聴したりし、物語のあらすじをつかみ、場面に合わせて身振りをしたり、行進したりする。	・ブレーメンの音楽隊(☆☆☆)	知・技 <u>B 鑑賞ア(ア)</u> 思・表・判 <u>B 鑑賞ア(イ)</u>
3 月	みんなであわせよう (6)	(歌唱) ・歌詞の意味を知り、内容を思い浮かべながら、別れや感謝の気持ちを表現しながら歌うことができるようにする。 ・小学校の思い出を振り返ったり、お世話になった方を思い出したりしながら歌う。  ・ペープサートやパネルシアター、写真などを見て、歌詞に表現されているメッセージを理解しながら、進級の決意を持つことができる。 ・「君が代」が日本の国歌であることを知り、教師の歌唱やCDを聴いたり歌ったりして曲の厳粛な雰囲気を味わい、「君が代」に親しむことができるようにする。 ・映像を見たり、手話をしたりしながら、歌詞に親しんで歌うことができる。	・ありがとうさようなら(☆☆☆) ・ビリーブ ・旅立ちの日に ・はじめのいっぽ(☆☆☆)  ・君が代(☆☆☆)  ・みやざき中央支援学校校歌	知・技 <u>A 表現ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現ア(ア)イ(ア)</u>
		(器楽・鑑賞) ・映像を見て、オーケストラが演奏する「威風堂々」第1番を鑑賞し、どのような楽器が使われているかを知る。 ・調べた楽器の音が登場した時に、挙手して教師に知らせ、オーケストラの演奏の中での音色を意識できるようになる。 ・手拍子でリズム練習をし 少しずつ教師と一緒に楽器を使って演奏していく。	・いふうどうどう(☆☆☆)	知・技 <u>A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>B 鑑賞ア(ア)</u> 思・表・判 <u>A 表現 イ(ア)</u> <u>B 鑑賞ア(イ)</u>
		(身体表現) ・音楽に合わせてたのしく体を動かし、春がくる喜びを感じる。	・ばんばん・はるいちばん	知・技能 <u>A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> 思・表・判 <u>A 表現エ(ア)</u>
		(鑑賞) ・曲が作られた背景を知り、願いを持ちながら曲を聴くことができる。	・花がさく	知・技 <u>B 鑑賞ア(ア)</u> 思・表・判 <u>B 鑑賞ア(イ)</u>
年間を通して				



学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
小学部	6	I ・ II	音楽	I II （7 0）	小学部 3 段階

目標	知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
4 月	みんななかよく(5)	(歌唱) ・春を思わせる花や蝶や小さな魚などのペープサートを準備し好きなペープサートを選び、それを持って、身体で拍を感じながら歌う。 ・「ともだちになるために」では、友達を指差す動作を取り入れ、友達を意識しながら歌う。	・みやざき中央支援学校校歌  ・はるのかぜ(☆☆☆)  ・はるがきた(☆☆☆)  ・ともだちになるために(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・手拍子、カスタネットやタンブリンなどの打楽器でタイミングを合わせて打つ練習をする。	・パレード(☆☆☆)  ・たのしいね(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・伴奏と歌に合わせて歩く。 ・歌詞に合わせた振り付けで踊る。	・さんぽ(☆☆☆)  ・ギャロップでおどろう(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・桜が咲いている写真や映像を見て、花の美しさや春の訪れを具体的にイメージする。	・さくらさくら(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
5 月	みんなでうたおう(6)	(歌唱) ・こいのぼりの映像や実物を見て歌詞の意味を確認しながら歌う。 ・運動会に関連した音楽では、元気よく大きな動きを模倣しながら歌う。 ・歌詞の覚えにくい部分はハンドブレイをしながら歌う。	・こいのぼり(小共)  ・うんどうかい(☆☆)  ・はしるのだいすき(☆☆)  ・てのひらを太陽に(☆☆☆)  ・おぼろ月夜(小共)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・歌詞の「たん」の部分ボディパーカッションしたり、打楽器で打ったりする。タン・タタタンの部分を高度な打ち方を工夫する。 ・リズム譜を見ながら、教師の真似をして打楽器で簡単なリズム打ちをする。	・ぼくのミックスジュース(☆☆☆)  ・あさおきたん	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・3拍子のリズムを体全体で感じながら身体を左右に揺らしたり、歌詞に合わせて回ったりして楽しく踊る。 ・「せんろはつづくよどこまでも」では、友達の肩に両手をかけつなげたり、フラフープやロープをつなげたりして、列車に見立てて歌いながら歩く。 ・自分の身体部位を触れるように歌ったり、順番に手をつないだり、隣の人とタッピングしたりして輪になる。	・おどろう楽しいポーレチケ(☆☆☆)  ・せんろはつづくよどこまでも(☆☆☆)  ・てとてととと(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・「オズの魔法使い」の絵本等を見て情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	・オーバーザーレインボー(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
6 月	おとであそぼう(7)	(歌唱) ・「かえるのがっしょう」では、歌詞唱や階名唱をして旋律を覚え、全体で輪唱したり、輪奏したりしてリズムの面白さを表現する。 ・雨の日の風景写真や映像、傘やレインコートなどの具体的な物を見ることで、雨の日のイメージをもつ。	・かえるのがっしょう(☆☆☆)  ・にじ(☆☆☆)  ・あめのワルツ  ・だからあめふり	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)

		(器楽) ・「雨の音楽をつくろう」では、レインスティックや水風船などの手作り楽器を鳴らして、雨の様子をイメージしながら音楽をつくる。	・雨の音楽をつくろう(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア) 知・技 A エ表現(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(身体表現) ・曲に合わせて歩いたり、身体を揺すったりして、時を刻む時計のイメージやリズムのおもしろさを感じる。	・シンコペーテッドクロック(☆☆☆)	
		(鑑賞) ・雨の季節の情景を思い浮かべながら、パネルシアターやパワーポイントを利用してゆったりと鑑賞する。	・あめふりくまのこ(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
7月	うたっておどって(6)	(歌唱) ・絵や写真、映像などを用いて歌詞に登場する夏の景色や動物をイメージしながら歌う。 ・動物の絵カードやペープサートを見ながら動物の鳴き声を真似する。 ・「大きなうた」では、輪唱の形式で歌う個所と一緒に歌う個所を意識して歌い分ける。	・ピクニック(☆☆☆) ・ゆかいなまきば(☆☆☆) ・なつの山(☆☆☆) ・大きなうた(☆☆☆) ・われは海の子(小共)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・階名唱をして旋律を覚え、色音符とマッチングさせながら旋律楽器で部分奏や旋律奏をする。 ・手拍子や打楽器で3拍子のリズム打ちを練習し、曲に合わせて3拍子のリズムをとる。	・きらきらぼし(☆☆☆) ・もしもこっくさんだったら(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現イ(ア)
		(身体表現) ・音楽に合わせて走り、中間部は足を止めて身体を左右に大きく揺すりながら歌う。	・テルテルボーイズ(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・暗くした部屋で心を落ち着かせて、パワーポイントやブラックシアターを見ながら、イメージをもって鑑賞する。	・ほしにねがいを(☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
9月	りずむにあわせて(6)	(歌唱) ・映像やCDなどで山びこのイメージをつかみ、山びこのまねをして、楽しく発声練習をして歌う。 ・明るい曲調と、ゆっくりしたテンポを感じながら、8小節ずつ区切って歌ったり、教師の範唱を聞いたりして歌うようにする。 ・すすき、柿の実、焼き栗など歌詞に歌われている物事に触れたり、名称を知ったりして、歌詞に表されている内容が理解できる。	・山びこごっこ(☆☆☆) ・きみのこえ(☆☆☆) ・あきの子(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ) 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(器楽) ・「こいこいこい」などの繰り返しの言葉を覚え、楽しく歌い、「寺」「和尚さん」「狸」などの歌詞に関する映像や写真などを見て、歌詞に表されている状況が理解できる。また、リズムに合わせて楽器をならすことができる。	・しょうじょうじのためきばやし(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊧(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・3拍子を感じ取りながら、教師の動作を模倣して覚え、テンポを上げたり、登場人物を変えたりして楽しく表現できる。 ・教科書のイラストや映像を見たり、教師による動作を手本にしたりして、歌に合わせて体を動かすことができ、ペープサートや指人形などを見て、身体表現のイメージを高めていき、歌とともにパントマイムも楽しむ。 ・映像などを見ながら赤鬼と青鬼がタンゴを踊っている様子をイメージし、身体を使ってどう表せばよいか考えて踊ったり、休符部分「ウン」のところで合いの手を入れたりして楽しく表現する。	・だいくのきつつきさん(☆☆☆) ・山ごやいっけん(☆☆☆)  ・赤おにと青おにのタンゴ(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊧(ウ)㊦㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・映像を見ながら想像を膨らませ、第1部から第3部までの違いを感じながら鑑賞する。	・子犬のワルツ(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
10月	がっきをならそう(7)	(歌唱) ・いろいろなサンバの曲を聴いたり、カーニバルの映像を見たりして、サンバで使用されている楽器の音やサンバの雰囲気を感じる。 ・「まっか」「つたのは」「もみじ」「まっかなほっぺ」など、キーワードとなる言葉について写真やイラストなどを見て理解しながら歌い、声の強弱の付け方や音の重なり具合を工夫する。 ・ゆったりとした曲調を感じ、秋の夕暮れや夕焼け雲がどのようなものか、映像を見てイメージを膨らませながら歌うことができる。	・あさまでサンバ(☆☆☆) ・まっかなあき(☆☆☆) ・夕やけこやけ(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊧ エ(イ)㊧(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現 イ(ア)エ(ア)

		(歌唱・器楽) ・泉の精「オーラリー」を読んでいる情景を、教科書のイラストや映像を見てイメージし、トーンチャイムやハンドベル、バチを持ち、曲に合わせて音を出し、音の重なりを楽しむ。 ・祭りの楽しい様子を想像できるように、各地の祭りの様子を映像で見たりして、雰囲気やイメージを感じる。また、はっぴを着せたり、楽器を鳴らしたりし、楽しみながら実際の祭りを感じることができるようにする。 ・実際に虫の声を聞かせて、イメージをふくらませ季節感を味わう。また、楽器を使って虫の声を表し、表現する楽しさを味わうことができる。	・オーラリー(☆☆☆)  ・村まつり(☆☆☆)(小共)  ・虫のこえ(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦㊦ エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A イ(ア)エ(ア)
		(身体表現) ・津軽地方の荒馬踊りの映像を見て、「ラッセラー、ラッセラー」「ラッセラッセラー」のかけ声に合わせて荒馬踊りを練習する。	・あらうま(☆☆☆)	知・技 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A エ(ア)
		(鑑賞) ・自分自身を人形に見立てて、跳んだりギャロップしたりなどして曲に合った動きをしてみる。また、友達と向かい合ったり円になったりしてそれぞれの表現を認め合う。 ・映像や、実際に紅葉や木の実などを見ながら、秋のイメージを膨らませて、曲に親しむことができる。	・ゴリウォーグのケークウォーク(☆☆☆) ・小さい秋みつけた	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
1 1 月	ひびきあいをたのしもう(7)	(歌唱) ・世界のいろいろな国の写真などを見て世界の国に対して興味を持ち、その国の楽曲を聞いたりして、外国の歌や文化に触れる経験がもてるようにする。また、手話にもチャレンジし、表現の仕方を学べるようにすることができる。 ・映像などを見ながらイメージを持ち、実際にこぎつねと触れあっているような優しい気持ちを持って歌うことができる。	・おんがくのおくりもの(☆☆☆) ・小さな世界(☆☆☆) ・世界中の子どもたちが(☆☆☆) ・こぎつね	知・技 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦ 思・表・判 A 表現 ア(ア)
		(器楽) ・歌唱に簡単な動作を併せて身体表現をしたり、リズムの面白さを感じてリズム打ちをしたりする。 ・ジャズ特有のリズムやマーチのリズムを感じ取り、鍵盤楽器や打楽器を用いてリズムを表現できるようにする。	・ちゃいろの小びん(☆☆☆) ・ミッキーマウスマーチ(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現 イ(ア)
		(身体表現) ・2人1組になり、音楽に合わせて映像を見たり教師の模倣をしたりしながら、楽しく身体を動かす。	・おいもの天ぷら	知・技 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A エ(ア)
		(鑑賞) ・映像を見ながら、イメージを膨らませて聴き、声の響きを感じることができる。	・きみをのせて	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
1 2 月	いろいろなおんがく(6)	(歌唱) ・視覚教材などで冬のようなすをイメージしながら歌うことができるようにする。 ・教師の話や視覚教材などでふるさとについてのイメージを持ちながら、丁寧に歌うことができる。 ・サウンドオブミュージックは、☆☆のドレミの歌を歌いながら、その曲の面白さに気付いて歌えるようにする。また、ミュージカルの曲なので、登場人物やストーリーなど、物語のダイジェストを絵カードや写真で見たりして、イメージを膨らまして歌うことができる。	・冬げしき(小共) ・スキーの歌(小共) ・ふるさと(小共) ・サウンドオブミュージック(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦ エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現ア(ア)エ(ア)
		(身体表現) ・だ・る・ま・さんがおどったは、日本のわらべ歌のアレンジになっていることから、最初は「にらめっこ(だるまん)」を実際に遊んだりする。歌詞に出てくる世界のダンスを学び、実際に歌いながら踊ることができるようにする。	・だ、る、まさんがおどった(☆☆☆)	知・技能 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(器楽) ・クリスマスの楽しい雰囲気を感じながら曲に合わせて鈴をならしたりする。	・サンタが街にやってくる	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現 イ(ア)
		(歌唱・鑑賞) ・映像を見たり、教師の話を聞いたりし、クリスマスやサンタのイメージを膨らませ、楽しみながらリズムを感じることができる。	・サンタはいそがしい ・きよしこの夜	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
1 月	うたってあそんで(7)	(歌唱) ・映像やパネルシアターなどを見て、日本には十二支があることを知り、途中で手拍子をしながらか楽しく歌い、十二支を覚えることができる。また、今年の干支について興味を持つことができるようにする。 ・歌詞の意味を知り、宮崎県の民謡に親しむことができる。	・十二支の歌 ・エトはメリーゴーランド ・ひえつき節	知・技能 A 表現ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦ 思・表・判 A 表現ア(ア)
		(身体表現) ・かくれんぼの遊びを確認し、不織布などを使って、実際にかくれんぼの真似をしながら、歌のイメージを膨らませ、楽しく歌うことができる。 ・昔からある童歌に親しみ、「勝つ」「負ける」「あいこ」をジェスチャーし、相手に合わせた動きをしたり、異なる動作をしたりして、様々な表現を楽しむ。 ・映像や教師の動きをみて、楽しく大きな動作で踊ることができる。	・かくれんぼ(☆☆☆)(特小共) ・ひらいたひらいた ・おちゃらかほい(☆☆☆)  ・おにのパンツ	知・技能 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)

		(鑑賞) ・教師の話の聞いたり映像を見たりして、正月のイメージを持ちながら、日本の伝統楽器に親しむことができる。	・春の海	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
2月	うたってあそんで(7)	(歌唱) ・教師の話の聞いて子守歌がどのようなものかを知り、優しい気持ちで歌うことができる。 ・パネルシアターを見ながら、教師の歌いかけに応じ、交互唱の歌い方を理解する。 ・挿絵や視覚的な補助教材を見て、冬や北風などのイメージを膨らませて歌えるようにし、戸外の冬の表現を探したりする。 ・冬の寒い風を感じたり、「寒太郎」というフレーズを大きな声で言ったりしながら、冬の雰囲気を楽しんで歌うようにする。 ・冬と春の違いについて対比しながら話し、歌詞を味わいながら教師の範唱を聴き、反復唱をしながら練習をする。	・子もり歌(小共) ・やおやのおみせ(☆☆☆) ・北風小僧の寒太郎(☆☆☆)  ・どこかで春が(☆☆☆)	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧ イ(イ)㊦㊧ 思・表・判 A 表現ア(ア)イ(ア)
		(器楽 ) ・歌詞の内容をイメージできるよう、ペープサートやエプロンソーターなどで、小熊の様子をイメージする。 ・鍵盤に音名やシール等を貼ってもらい、教師と一緒に演奏することができる。	・こぐまの2月(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現 イ(ア)
		(身体表現) ・どのくらいの力でおしたりすればよいか練習をし、教師や他の児童と一緒に楽しく活動を行えるようにする。 ・リズムカルなテンポの曲に合わせて、教師や他の児童と一緒に楽しみながら表現し、歌詞や教師の声かけにより凍ったり、歩いたりする動きを工夫することができるようにする。	・おしくらまんじゅう(☆☆☆) ・こおっちゃう	知・技能 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・絵本を見たり、映像を視聴したりし、物語のあらすじをつかみ、場面に合わせて身振りをしたり、行進したりする。	・ブレーメンの音楽隊(☆☆☆)	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
3月	みんなであわせよう(6)	(歌唱) ・歌詞の意味を知り、内容を思い浮かべながら、別れや感謝の気持ちを表現しながら歌うことができるようにする。 ・小学校の思い出を振り返ったり、お世話になった方を思い出したりしながら歌う。  ・ペープサートやパネルシアター、写真などを見て、歌詞に表現されているメッセージを理解しながら、進級の決意を持つことができる。 ・「君が代」が日本の国歌であることを知り、教師の歌唱やCDを聴いたり歌ったりして曲の厳粛な雰囲気を味わい、「君が代」に親しむことができるようにする。 ・映像を見たり、手話をしたりしながら、歌詞に親しんで歌うことができる。	・ありがとうさようなら(☆☆☆) ・ビリーブ ・旅立ちの日に ・はじめのいっぽ(☆☆☆)  ・君が代(☆☆☆)  ・みやざき中央支援学校校歌	知・技 A 表現ア(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧ イ(イ)㊦㊧ 思・表・判 A 表現ア(ア)イ(ア)
		(器楽・鑑賞) ・映像を見て、オーケストラが演奏する「威風堂々」第1番を鑑賞し、どのような楽器が使われているかを知る。 ・調べた楽器の音が登場した時に、挙手して教師に知らせ、オーケストラの演奏の中での音色を意識できるようになる。 ・手拍子でリズム練習をし 少しずつ教師と一緒に楽器を使って演奏していく。	・いふうどうどう(☆☆☆)	知・技 A 表現イ(イ)㊦(ウ)㊦ B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 A 表現 イ(ア) B 鑑賞ア(イ)
		(身体表現) ・音楽に合わせてたのしく体を動かし、春がくる喜びを感じる。	・ばんばん・はるいちばん	知・技能 A 表現エ(イ)㊦(ウ)㊦ 思・表・判 A 表現エ(ア)
		(鑑賞) ・曲が作られた背景を知り、願いを持ちながら曲を聴くことができる。	・花がさく	知・技 B 鑑賞ア(ア) 思・表・判 B 鑑賞ア(イ)
年間を通して				

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	1	I ・ II	音楽	I （5 2． 5） II （7 0）	中学部 1 段階

目 標	知識及び技能	曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1 学 期	「新しい仲間」(10) I (7. 5) II (10)	(歌唱) ・「校歌」を歌うことで本校へ入学したことの意識を持つ。 ・音楽に合わせて、友だちと手を叩き合ったり、歌ったり、身体表現をしたりすることで、友だちを意識するような関わりをもつ。	・校歌 ・世界中の子どもたちが ・春の小川 ・風よふけふけ ・まきばの朝(共通教材) ・運動会での使用曲	知・技 <u>1A 表現ア(イ)イ(ウ)ウ エ</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)ア</u>
		(身体表現) ・運動会に関連した音楽では、元気よく声を出したり、大きな動きを模倣する。	・みや央音頭	
	「ようすを感じて」(6) I (4.5) II (6) 「季節の音」(6) I (4. 5) II (6)	(鑑賞) ・梅雨の時期であることを伝え、雨の音に耳を傾けさせる。雨の音にもいろいろな種類があることに気づく。	・雨だれ ・あの青い空のように ・サラスポンダ ・ふじ山(共通教材)	知・技能 <u>1A 表現ア(イ)(ウ)</u> <u>ウ(イ)㊦㊧</u> <u>(ウ)㊦㊧</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)</u> <u>ウ(ア)ア</u>
		(器楽) ・楽器や布、シャボン玉などの教具を利用し、音楽の雰囲気を味わう。	・とんび(共通教材) ・絵を音にしよう	
2 学 期	「心を合わせて」(7) I (5) II (7)  「季節の歌」(8) I (6) II (8)	(歌唱)(鑑賞) ・合唱や斉唱、合奏は、指揮者に注目し、合図をよく見てみんなで声や音を合わせるようにする。	・少年時代 ・レットイットビー ・うさぎ(共通教材) ・赤とんぼ	知・技能 <u>1A 表現ア(イ)</u> <u>イ(イ)㊦㊧㊨(ウ)</u> <u>エ</u> <u>1B 鑑賞ア(イ)</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)</u> <u>イ(ア)</u> <u>エ</u> <u>1B 鑑賞ア(ア)</u>
		(器楽)(身体表現) ・自分の役割を意識し、演奏部分や、身体表現等の部分がしっかり分かるようにする。	みや央祭での発表曲	
	「楽器の音色」(8) I (6) II (8)	(鑑賞)(歌唱) ・楽器の名前や音を、曲を聴いたり、演奏場面の映像を見たりして関心をもつ。 ・歌詞が表す美しい情景をイメージしながら歌い方を工夫する。	・もみじ(共通教材) ・月の光	知・技能 <u>1A 表現ア(イ)</u> <u>1B 鑑賞ア</u> 思・表・判断 <u>1A 表現ア(ア)</u> <u>1B 鑑賞ア</u>
		(鑑賞) ・クリスマスにちなんだ扮装や雰囲気を出すような場を工夫し、クリスマスの雰囲気を味わう。	・アメイジンググレイス ・we wish you a merry chrisutmas ・きよしこの夜	
	「季節の音楽」(6) I (4.5) II (6)	(器楽) ・トーンチャイム等を使って、曲の雰囲気や響きの美しさを味わう。	・カノン ・交響曲「第9番」	知・技能 <u>1A 表現イ(イ)(ウ)</u> 思・表・判 <u>1B 鑑賞ア(ア)</u>
3 学 期	「日本の音楽(和楽器)」(6) I (4.5) II (6)	(鑑賞)(器楽) ・和楽器に触れさせ、実際の音を経験する。 ・日本音楽の伝統や雰囲気、特徴を感じる。	・箏曲 ・春の海 ・雅楽 ・鹿の遠音 ・長唄「えちごじし」 ・つがる三味線「つがるじょんがら節」 ・さくらさくら(共通教材)	知・技 <u>1A 表現ア(イ)ア</u> <u>(ウ)㊦</u> <u>B 鑑賞ア(イ)</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)</u> <u>1B 鑑賞ア(ア)</u>

	「気持ちを込めて」(8) Ⅰ(6)Ⅱ(8) 「声をそろえて」(5) Ⅰ(4)Ⅱ(5)	(歌唱) ・歌詞を読んで、歌詞の内容を理解できるようにする。 ・伴奏や指揮を意識させるよう促す。 ・卒業生を送り出すことを理解し、心をこめて歌うことに気付く。	・卒業式の歌 ・ベストフレンド ・たいせつなもの	知・技 <u>1A 表現ア(イ)(ウ)</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)</u>
年間を通して		(歌唱)(音楽づくり)(鑑賞) ・伴奏や指揮を意識させながら、雰囲気合いそうな表現を工夫する。 ・リズムパターンや発想を生かした表現を楽しむ。 ・ヒットソングなど好きな楽曲を紹介して関心をもたせる。	・音楽はじめよう ・終わりの歌 ・手拍子リレー ・リクエスト曲	知・技能 <u>1A 表現ア(イ)(ウ)</u> <u>ウ(イ)㊦㊧</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊧</u> <u>1B 鑑賞</u> 思・表・判 <u>1A 表現ア(ア)</u> <u>ウ(ア)㊧</u> <u>エ(ア)㊧</u> <u>1B 鑑賞</u>

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	2	I ・ II	音楽	I （52.5）・ II （70）	中学部 1 ・ 2 段階

目 標	知識及び技能	<u>曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。（1 段階）</u> <u>曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。（2 段階）</u>
	思考力、表現力、判断力等	<u>音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。（1 段階）</u> <u>音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。（2 段階）</u>
	学びに向かう力、人間性等	<u>進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。（1 段階）</u> <u>主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。（2 段階）</u>

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1 学期	「音楽を楽しもう」 I（7.5）II（10）	（歌唱） ・校歌の歌詞の意味を理解し、気持ちを込めて歌う。 ・友だちや教師と歌い合わせる楽しさを共有する。	・校歌 ・君が代 ・こいのぼり（☆5 2 段階共通教材）	知・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦(ウ)㊦ エ(ウ)㊦</u>
		（身体表現） ・友達と動きを合わせながらボディーパーカッションを楽しむ。 ・曲に合わせて行進したり、身体を動かしたりする。	・おお牧場はみどり（☆4） ・茶つみ（☆4 1 段階共通教材） ・セブンスステップス（☆4） ・運動会関連曲	思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞 <u>ア(ア)</u>
		（鑑賞） ・強拍弱拍の組み合わせを意識して聴き、2 拍子の特徴を感じ取る。 ・曲の雰囲気を感じ取るとともに、運動会で用いられる理由について友達と話し合う。	・天国と地獄 ・トランペット吹きの日 ・クシコスポスト	
	「様子を感じて」 I（5）II（7） 「季節の音」 I（4.5）II（6）	（歌唱） ・歌詞や音型の表している様子を感じ取りながら、表現する。 ・強弱記号の意味を理解し、違いを意識しながら歌唱する。	・明日という大空（☆4） ・われは海の子（☆5 2 段階共通教材） ・夏は来ぬ（☆5） ・海の声 ・島人ぬ宝（☆4）	知・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>イ(ウ)㊦㊦</u> <u>ウ(イ)㊦(ウ) ㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u>
		（器楽） ・雨や水など情景に合った音を楽器で表現する。 ・伴奏に合わせてタイミングよく楽器を鳴らす。	・雨だれ ・お話の音楽を作ろう（☆4）	思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)イ(ア)</u> <u>ウ(ア)㊦㊦ エ(ア)</u> B 鑑賞 <u>ア(ア)</u>
		（音楽づくり） ・情景に合う音色や表現を考える。 ・友だちと一緒に場面に合った音を考えたり探したりしながら音楽づくりをする。 ・場面に合わせて音の出し方やタイミングを工夫する。	・お話の音楽を作ろう（☆4）	
		（鑑賞） ・雨の音に耳を傾け、雨の音にもいろいろな種類があることに気づく。 ・自然の音に耳を向けるとともに、音のもつ雰囲気を感知取る。 ・歌詞や曲、音の表している様子を感じ取りながら、鑑賞する。 ・歌詞の内容から情景を想像したり、様子を表している特徴的な表現に気付いたりしながら鑑賞する。	・歌曲「魔王」（☆5） ・海の声 ・島人ぬ宝（☆4） ・雨だれ	

2 学 期	「心を合わせて」 Ⅰ(6)Ⅱ(8) 「季節の歌」 Ⅰ(6。5)Ⅱ(8)	(歌唱) ・お互いの声をよく聴きながら表現する。 ・声やリズムを合わせて一つの音楽を作り上げていく楽しさを味わう。 ・声の重なりを意識しながら歌う。 ・指揮者に注目し、合図を見てみんなで声を合わせる。	・少年時代(☆4) ・うさぎ(☆4 1段階共通教材) ・もみじ(☆4 1段階共通教材) ・赤とんぼ(☆4)	<u>知・技</u> <u>A表現</u> <u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦(ウ)㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>B鑑賞(イ)</u>  <u>思・表・判</u> <u>A表現</u> <u>ア(ア)エ(ア)</u> <u>B鑑賞(ア)</u>
		(器楽) ・お互いの楽器の音をよく聴きながら表現する。 ・リズムを合わせて一つの音楽を作り上げていく楽しさを味わう。 ・自分の役割を意識し、主体的に演奏をする。 ・指揮者に注目し、合図を見てみんなで音を合わせる。	・みや央祭関連曲	
		(身体表現) ・友達と動きを合わせて表現する楽しさを味わう。 ・曲の速さを意識した身体表現の仕方を工夫する。	・みや央祭関連曲	
		(鑑賞) ・季節を身近に感じ、秋の歌に親しむ。 ・歌詞や曲調に合わせた表現方法を感じ取りながら鑑賞する。	・赤とんぼ(☆4) ・待ちぼうけ	
	「いろいろな音色」 Ⅰ(4)Ⅱ(6)	(器楽) ・演奏場面の映像を見たり実際に楽器を演奏したりしていろいろな楽器に関心をもつ。 ・奏法によって音色や響きが変わることを意識して演奏する。	・いろいろな音を作ろう(☆4) ・「サウンド・オブ・ミュージック」(☆4)	<u>知・技</u> <u>A表現イ(ウ)㊦㊦</u> <u>ウ(イ)㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>B鑑賞(イ)</u>  <u>思・表・判</u> <u>A表現イ(ア)ウ(ア)㊦</u> <u>B鑑賞(ア)</u>
		(音楽づくり) ・言葉とリズムの関係に気付き、その組み合わせを楽しむことができる。 ・拍子や簡単なリズムについて理解することができる。 ・条件の中で音を選んだり組み合わせたりして表現することができる。	・動物園の仲間(☆4)	
		(鑑賞) ・楽器の音色に関心を持ち、違いや表現の豊かさを味わう。 ・楽器の組み合わせや奏法の違いによる響きの違いを知る。	・「サウンド・オブ・ミュージック」(☆4) ・A 列車で行こう(☆4) ・カルメン前奏曲(☆4)	
	「季節の音楽」 Ⅰ(4.5)Ⅱ(6)	(歌唱) ・クリスマスや年末の雰囲気を感じ、友だちと一緒に歌や表現を楽しむ。 ・曲の雰囲気に合う歌い方を考えることができる。	・we wish you a merry christmas ・きよしこの夜	<u>知・技</u> <u>A表現</u> <u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>B鑑賞(イ)</u>  <u>思・表・判</u> <u>A表現</u> <u>ア(ア)イ(ア)</u> <u>B鑑賞(ア)</u>
		(器楽) ・トーンチャイムやハンドベル等を使って、曲の雰囲気や響きの美しさを味わう。 ・簡単な楽譜を見て演奏する。	・パッヘルベルのカノン(☆5) ・交響曲第9番合唱付き	
		(鑑賞) ・年末年始の様々な音楽イベントを知り、興味関心を持つことができる。 ・オーケストラやオペラなどの概要を知る	・パッヘルベルのカノン(☆5) ・交響曲第9番合唱付き ・オペラ「まてき」(☆4) ・くるみ割り人形(☆5)	
3 学 期	「アジアや日本の音楽」 Ⅰ(10.5)Ⅱ(14)	(歌唱) ・民謡を部分的に歌ったり、掛け声や合いの手に挑戦したりする。 ・合唱の発声と民謡の発声の違いに気付き、曲に合わせた歌い方を工夫する。	・日本各地の民ようとおどり(☆4) ・さくらさくら(☆4 1段階共通教材)	<u>知・技能</u> <u>A表現</u> <u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦㊦</u> <u>B鑑賞(イ)</u>  <u>思・表・判</u> <u>A表現</u>
		(器楽) ・和楽器に実際に触れ、経験することで、響きを味わう。	・さくらさくら(☆4 1段階共通教材)	
		(身体表現) ・民謡の踊りに挑戦し、身体全体でリズムを感じ取る。 ・踊りを通して曲に親しむとともに、友達と活動する楽しさを味わう。	・日本各地の民謡と踊り(☆4)	



		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・民謡の音源や映像を鑑賞し、歌や踊り、楽器の特徴を知る。</li><li>・アジアの民族音楽や伝統音楽、日本の音楽に触れ、特徴や雰囲気を味わう。</li><li>・アジアの民族楽器の音源を聴いたり、映像を見たりして、興味関心を持った楽曲やその理由について自分の考えを伝える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・京劇(☆4)</li><li>・ガムラン(☆5)</li><li>・春の海(☆5)</li></ul>	<p><u>ア(ア)エ(ア)</u></p> <p><u>B鑑賞(ア)</u></p>
	「気持ちを込めて」 Ⅰ(4)Ⅱ(5)	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歌い出しを意識し、丁寧な歌声で歌う。</li><li>・卒業生との思い出を振り返り、気持ちを込めて歌う。</li><li>・曲の構成を理解し、盛り上がりを工夫しながら表現する。</li><li>・指揮者によく注目し、みんなと声を合わせることを意識して歌う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・校歌</li><li>・君が代</li><li>・Believe(☆4 卒業式の歌)</li><li>・旅立ちの日に(☆5 卒業式の歌)</li><li>・おぼろ月夜(☆5 2段階共通教材)</li></ul>	<p>知・技</p> <p><u>A表現</u></p> <p><u>ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦㊦</u></p> <p><u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u></p> <p><u>B鑑賞(イ)</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手話をもとにした身体表現を覚え、伸び伸びと歌う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・Believe(☆4 卒業式の曲)</li><li>・旅立ちの日に(☆5 卒業式の歌)</li></ul>	<p>思・表・判</p> <p><u>A表現</u></p> <p><u>ア(ア)エ(ア)</u></p> <p><u>B鑑賞(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・模範演奏を鑑賞し、姿勢や口の開け方について知る。</li><li>・式典に用いられる楽曲を鑑賞し、場面に合う音楽について考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・旅立ちの日に(☆5 卒業式の歌)</li><li>・威風堂々行進曲</li></ul>	
年間を通して		<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・呼びかけと応答の面白さを理解し、授業の始まりを意識しながら歌う。</li><li>・授業の終わりを意識しながら、落ち着いた歌声で歌う。</li><li>・テンポの変化を感じ取り、友だちと合わせることを意識する。</li><li>・日常生活で耳にする楽曲を歌い、歌詞や旋律のよさを友達と共有する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・音楽はじめよう</li><li>・おわりの曲</li><li>・ポピュラーソング等</li></ul>	<p>知・技</p> <p><u>A表現</u></p> <p><u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u></p> <p><u>イ(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u></p> <p><u>エ(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u></p> <p><u>B鑑賞(イ)</u></p>
		<p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活で耳にする楽曲の一部分の器楽演奏に挑戦し、楽曲の特徴に気付いたり、楽器に親しんだりする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポピュラーソング、映画音楽等</li></ul>	<p>思・表・判</p> <p><u>A表現</u></p>
		<p>(身体表現)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手拍子の模倣や即興的な表現を通して、様々なリズムパターンに親しむ。</li><li>・歌に合わせてタイミングよく後打ちをする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・手びょうしりレー(☆4)</li><li>・音楽はじめよう</li><li>・手話歌</li></ul>	<p><u>ア(ア)イ(ア)エ(ア)</u></p> <p><u>B鑑賞(ア)</u></p>
		<p>(鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活で耳にする楽曲のよさを感じ取ったり、特徴を理解したりする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポピュラーソング、映画音楽等</li></ul>	

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
中学部	3	I ・ II	音楽	I （52. 5）・ II （70）	中学部 2 段階

目 標	知識及び技能	曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	主体的に楽しく音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1 学 期	「音楽を楽しもう」 I（7.5）II（10）	（歌唱） ・歌詞に込められた意味を理解し、気持ちを込めて歌う。 ・友達と歌い合わせる楽しさを共有する。	・校歌 ・君が代	知・技能 A 表現 <u>ア(イ)㊦(ウ)㊦ エ(ウ)㊦</u>  思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞 <u>ア(ア)</u>
		（身体表現） ・友達と動きを合わせながらボディーパーカッションを楽しむ。 ・曲に合わせて行進したり、身体を動かしたりする。	・手びょうしの花束(☆5) ・運動会関連曲	
		（鑑賞） ・強拍弱拍の組み合わせを意識して聴き、2 拍子の特徴を感じ取る。 ・曲の雰囲気を感じ取るとともに、運動会で用いられる理由について友達と話し合う。	・天国と地獄 ・トランペット吹きの日 ・クシコスポスト	
	「ようすを感じて」 I（5）II（7） 「季節の音」 I（4.5）II（6）	（歌唱） ・サンバの雰囲気を感じながら明るい声で歌う。 ・感情を表す歌詞について具体的にイメージし、気持ちを込めて歌う。 ・交互唄の構造を理解し、声を重ね合う気持ち良さを味わいながら歌う。	・風になりたい(☆5) ・あの青い空のように(☆5)	知・表・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>イ(ウ)㊦㊦</u> <u>ウ㊦(イ)㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u>  思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)イ(ア)ウ(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞 <u>ア(ア)</u>
		（器楽） ・リズムパターンを言葉で唱え、基本のリズムパターンをつかむ。 ・シンコペーションやサンバのリズムを知り、曲に合わせて打楽器を演奏する。 ・友達の歌や伴奏を聴いて、リズムや速度を合わせて演奏する。	・風になりたい(☆5)	
		（音楽づくり） ・雨の音をイメージし、楽器の音色を工夫しながら雨の音を表現する。 ・楽曲に合わせて、自分の雨の音や友達の雨の音を組み合わせ、その良さを感じ取る。	・雨だれ	
		（身体表現） ・曲に合わせて水族館の生き物や水の音、気泡などの動きを想像して表現する。 ・友達と相談しながら、表現の仕方を工夫する。	・組曲「動物の謝肉祭」より(☆5)	
		（鑑賞） ・曲を聴いて感じたことを伝え合う。 ・雨の音に耳を傾け、いろいろな種類の雨の音があることを知る。 ・自然の音に耳を向けるとともに、音の持つ雰囲気を感じ取る。 ・音を聴いて情景を想像することができる。 ・楽器や布、シャボン玉などを活用し、音楽の雰囲気を味わう。	・組曲「動物の謝肉祭」より(☆5)	
2 学 期	「心を合わせて」 I（6）II（8） 「季節の歌」 I（7）II（9）	（歌唱） ・お互いの声を意識してよく聴きながら表現し、声やリズムを合わせて一つの音楽を作り上げていく楽しさを味わう。 ・歌詞の意味や楽曲の構成から、どこを盛り上げるか友達と話し合い、表現の工夫をする。 ・指揮者に注目し、合図をよく見てみんなで声を合わせる。	・つばさをください(☆5) ・みや央祭関連曲	知・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> B 鑑賞 <u>(イ)</u>  思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞 <u>(ア)</u>
		（器楽） ・お互いの楽器の音を意識してよく聴きながら表現し、リズムを合わせて一つの音楽を作り上げていく楽しさを味わう。 ・指揮者に注目し、合図をよく見てみんなで音を合わせる。	・みや央祭関連曲 ・シングシングシング(☆5)	
		（身体表現）	・みや央祭関連曲	

		<div>・リズムの特徴や曲想を感じ取り、自分の思いや意図をどのように身体表現するか考える。</div> <div>・友達と動きを相談して、合わせて表現する技能を身につける。</div> <div>・拍子の変化や速さの変化を意識しながら聴き、拍子に合わせて指揮をすることができる。</div>	<div>・人生のメリーゴーランド(☆5)</div>	
		<div>(鑑賞)</div> <div>・拍子の変化や速さの変化を意識しながら聴く。</div> <div>・演奏形態や使用する楽器が異なる演奏を聴き比べ、それぞれの良さを味わう。</div> <div>・鑑賞して感じたことを伝え合ったり、情景をイメージしたりしながら曲全体を味わって聴く。</div>	<div>・人生のメリーゴーランド(☆5)</div> <div>・月の光</div>	
	「音の重なり」 Ⅰ(4)Ⅱ(6)	<div>(歌唱)</div> <div>・教師の低音部と合わせ 2 部合唱をする。</div> <div>・声の重なりによる和音の響きの美しさを感じながら歌う。</div>	<div>・ふるさと(☆5 2 段階共通教材)</div>	<div>知・技</div> <div>A 表現</div> <div><u>ア(ウ)㊦㊧</u></div> <div>B 鑑賞(イ)</div> <div>思・判・表</div> <div>A 表現 <u>ア(ア)</u></div> <div>B 鑑賞(ア)</div>
		<div>(鑑賞)</div> <div>・いろいろな声で表現されている音楽を聴き、多彩な声の表現があることを感じ取る。</div> <div>・同じ曲を違う声の表現方法で演奏している曲や、器楽曲を声で表現しているものなどを聴き、声の持つ表現の多彩さを知る。</div>	<div>・いろいろな合唱(☆5)</div> <div>・サークル・オブ・ライフ(☆5)</div> <div>・つばきひめ(オペラ)(☆5)</div>	
	「季節の音楽」 Ⅰ(4.5)Ⅱ(6)	<div>(歌唱)</div> <div>・歌詞にある情景を写真等で見て、歌われている情景のイメージをもちながら歌う。</div> <div>・クリスマスの雰囲気を感じ、表現の楽しさを友だちと共有する。</div>	<div>・スキーの歌(☆5 2 段階共通教材)</div> <div>・冬げしき(☆5 2 段階共通教材)</div> <div>・ジングルベル</div> <div>・きよしこの夜</div>	<div>知・技</div> <div>A 表現</div> <div><u>ア(イ)㊦㊧(ウ)㊦㊧</u></div> <div><u>イ(イ)㊦(ウ)㊦</u></div> <div><u>エ(ウ)㊦</u></div> <div>B 鑑賞(イ)</div> <div>思・表・判</div> <div>A 表現</div> <div><u>ア(ア)イ(ア)エ(ア)</u></div> <div>B 鑑賞(ア)</div>
		<div>(器楽)</div> <div>・トーンチャイムやハンドベル、鈴を使って、曲の雰囲気や響きの美しさを味わう。</div> <div>・簡単な楽譜を見て演奏することができる。</div>	<div>・そりすべり</div> <div>・パッヘルベルのカノン(☆5)</div>	
		<div>(身体表現)</div> <div>・曲の躍動感に合わせてスキーのストックを動かすイメージで両手を前後に動かすなどの身体表現をする。</div>	<div>・スキーの歌(☆5 2 段階共通教材)</div>	
		<div>(鑑賞)</div> <div>・交響曲やオーケストラについて概要を理解する。</div> <div>・カノンの特徴について理解し、音の重なりやその響きを味わう。</div>	<div>・交響曲第9番合唱付き</div> <div>・そりすべり</div> <div>・パッヘルベルのカノン(☆5)</div>	
	3 学期	<div>(歌唱)</div> <div>・日本音階や独特の節回しを感じながら歌う。</div> <div>・陰音階と陽音階の旋律の違いに気付き、歌い分けることができる。</div>	<div>・越天楽今様(☆5 2 段階共通教材)</div> <div>・子もり歌(☆5 2 段階共通教材)</div>	<div>知・技</div> <div>A 表現</div> <div><u>ア(イ)㊦㊧(ウ)㊦</u></div> <div><u>イ(イ)㊦㊧</u></div> <div><u>ウ㊦(ウ)㊦</u></div> <div><u>エ(イ)㊦(ウ)㊦㊧</u></div> <div>B 鑑賞(イ)</div> <div>思・表・判</div> <div>A 表現</div> <div><u>ア(ア)ウ(ア)エ(ア)</u></div> <div>B 鑑賞(ア)</div>
		<div>(器楽)</div> <div>・和楽器に実際に触れ、経験することで、響きを味わう。</div> <div>・楽曲のリズムパターンを練習し、強弱を意識しながら曲に合わせて演奏する。</div>	<div>・雅楽「越天楽」(☆5)</div> <div>・アフリカンシンフォニー(☆5)</div>	
		<div>(音楽づくり)</div> <div>・日本音階を用いた即興の節づくりを楽しむ。</div>	<div>・雅楽「越天楽」(☆5)</div>	
		<div>(身体表現)</div> <div>・リズムの特徴や曲想を感じ取り、繰り返しの動きを覚え、曲に合わせて楽しく身体表現する。</div> <div>・歌舞伎の動きの特徴に気付き、模倣することで伝統芸能の理解を深める。</div>	<div>・マイムマイム(☆5)</div> <div>・ジェンガ</div> <div>・いざやカブかん！</div> <div>・歌舞伎「勧進帳」(☆5)</div>	
		<div>(鑑賞)</div> <div>・世界の国のいろいろな音楽や日本の伝統音楽に触れ、曲の特徴や雰囲気を味わう。</div> <div>・世界の民族楽器の音源を聴いたり、映像を見たりして、興味関心をもった楽曲やその理由について自分の考えを伝える。</div> <div>・日本古曲や雅楽、歌舞伎の音源や映像を鑑賞し、歌や踊り、楽器の特徴を知る。</div>	<div>・世界の音楽</div> <div>・コンドルは飛んでいく(☆5)</div> <div>・アフリカンシンフォニー(☆5)</div> <div>・雅楽「越天楽」(☆5)</div> <div>・歌舞伎「勧進帳」(☆5)</div>	

	「気持ちを込めて」 Ⅰ (3.5) Ⅱ (4)	(歌唱) ・歌い出しを意識し、響きのある丁寧な歌声で歌う。 ・友だちや後輩との思い出を振り返りながら気持ちを込めて歌う。 ・曲の構成を理解し、盛り上がりを工夫しながら表現する。 ・指揮者によく注目し、みんなと声を合わせることを意識して歌う。	・校歌 ・君が代 ・Believe (☆4 卒業式の曲) ・旅立ちの日に (☆5 卒業式の歌) ・マイバラード (☆5)	知・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦(ウ)㊦㊦㊦</u> <u>エ(イ)㊦(ウ)㊦</u> B 鑑賞(イ)
		(身体表現) ・手話をもとにした身体表現を覚え、伸び伸びと表現する。	・Believe (☆4 卒業式の曲) ・旅立ちの日に (☆5 卒業式の歌)	思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞(ア)
		(鑑賞) ・模範演奏を鑑賞し、姿勢や口の開け方、表現の仕方について知る。	・旅立ちの日に (☆5 卒業式の歌)	
年間を通して		(歌唱) ・呼びかけと応答の面白さを理解し、授業の始まりを意識しながら歌う。 ・授業の終わりを意識しながら、落ち着いた歌声で歌う。 ・テンポの変化を感じ取り、友だちと合わせることを意識する。 ・日常生活で耳にする楽曲を歌い、歌詞や旋律のよさを友達と共有する。	・音楽はじめよう ・おわりの曲 ・ポピュラーソング等	知・技 A 表現 <u>ア(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u> <u>イ(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u> <u>エ(イ)㊦㊦(ウ)㊦㊦㊦</u> B 鑑賞(イ)
		(器楽) ・日常生活で耳にする楽曲の一部分の器楽演奏に挑戦し、楽曲の特徴に気付いたり、楽器に親しんだりする。	・ポピュラーソング、映画音楽等	思・表・判 A 表現 <u>ア(ア)イ(ア)エ(ア)</u> B 鑑賞(ア)
		(身体表現) ・手拍子の模倣や即興的な表現を通して、様々なリズムパターンに親しむ。 ・歌に合わせてタイミングよく後打ちをする。	・手びょうしりレー (☆4) ・音楽はじめよう ・手話歌	
		(鑑賞) ・日常生活で耳にする楽曲のよさを感じ取ったり、特徴を理解したりする。	・ポピュラーソング、映画音楽等	

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部	1	I ・ II	音楽	I II （6 8）	高等部 1 段階

目 標	知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1 学期	「はじめよう音楽」(6)	<b>【歌唱】</b> ・教科書の楽譜や写真等を見て、音楽に対する意欲を高める。 ・校歌を聴き、旋律の美しさや歌詞に込められた作詞・作曲者の思いを伝えるとき、本校の一員であることを意識する。また、発声や発音、呼吸法、姿勢など歌唱の基本を理解する。 <b>【器楽】</b> ・楽譜に記された基本的な音楽記号について確認し学習する。	<b>【歌唱】</b> 校歌／Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 小さな空 o sole mio <b>【器楽】</b> Plymouth Rock Clap, Tap with CUPS ! ソルフェージュ	<u>思・表・判 A 表現 (1) 歌唱イ(ア)</u> <u>ウ(ア)㊦</u> <u>(2) 器楽イ(ア)</u> <u>知・技 A 表現</u> <u>(1) 歌唱イ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>ウ(イ)㊦(ウ)㊦</u> <u>(2) 器楽イ(イ)㊦(ウ)㊦</u>
	「リズムに親しもう」(8)	<b>【歌唱】</b> ・話題曲や流行曲など生徒の親しみやすい楽曲を使い、打楽器やボディーパーカッションでリズム表現をする。 <b>【器楽】</b> ・CD だけでなく生の楽器演奏と合わせることで、技能の実態に応じた速さで練習したり臨場感を味わったりしながら表現する。	<b>【歌唱】【器楽】</b> 見上げてごらん夜の星を 天国と地獄 リズムアンサンブルをつくろう Lemon／翼をください	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1) 歌唱ア(ア)</u> <u>(2) 器楽イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1) 歌唱ア(ウ)㊦ウ(イ)㊦</u> <u>(2) 器楽イ(イ) (ウ)</u>
	「メロディに親しもう」(5)	<b>【歌唱】</b> ・ICT 等を活用（動画視聴）し、作曲者や演奏家の曲に込めた思いを知ったり、歌詞を読みながら意味を説明したりして理解を深める。 ・歌唱や器楽演奏を取り入れた表現活動では楽曲の一部分を階名で歌唱させ、鍵盤楽器の演奏に取り組みやすいように工夫する。 <b>【器楽】【鑑賞】</b> ・季節にちなんだ童謡など単純な旋律を用いて、音階についての理解を深める。 ・実態や興味関心を考慮しながら楽器の選択や演奏パートを選択させ、お互いを尊重しながら学習をする。	<b>【歌唱】【器楽】【鑑賞】</b> 明日があるさ 虫の声 むこうむこう この道 負けないで 若者のすべて／東京ブギウギ	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1) 歌唱イ(ア)ウ(ア)</u> <u>(2) 器楽イ(ア)</u> <u>B 鑑賞 ア(ア)イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1) 歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>(2) 器楽イ(イ) (ウ)</u> <u>B 鑑賞 ア(イ) (ウ)イ(イ)</u>
	「みんなで合わせよう」(5)	<b>【器楽】【創作】</b> ・リズムカードや簡易な楽譜提示することにより、音楽に合わせてリズム打ちや簡単な旋律が演奏できるように支援する。 ・演奏の工夫に向けてグループで話し合ったり、練習したりする。 ・「みや央祭」に向けた合奏について、見通しをもて、意欲を高める。	<b>【器楽】【創作】</b> 「コード進行」をもとにメロディをつくろう」 「コード・ネーム」 威風堂々 茶色のこびん 聖者の行進 いちろうさんの牧場 オーラリー	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (2) 器楽イ(ア)</u> <u>(3) 創作ウ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (2) 器楽イ(イ) (ウ)</u> <u>(3) 創作ウ(イ) (ウ)</u>

2 学期	「音を合わせて表現しよう」(6)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT を活用してパートごとに演奏を録音し、個別の練習に役立てるようにする。</li><li>・楽器の取り扱いについては全体的な指導に加え、個別の指導をする。</li><li>・ステージ上や鑑賞時のマナーを理解する。</li></ul>	【歌唱】【器楽】 唱 (Ad)／アイドル (yoasobi) ミッション:インポッシブルのテーマ	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(ア)ウ(ア)</u> <u>(2)器楽イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>(2)器楽イ(イ) (ウ)</u>
	「音楽を感じて表現しよう」(6)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT を活用して録音・視聴することで、生徒自身の演奏への気づきを促し、それぞれの表現の工夫や改善をする。</li><li>・音楽的な見方で感想を言語化するポイントやキーワードを提示し、演奏の工夫に向けてパートや全体で協力する。</li><li>・楽器の基本的な奏法を理解する。</li><li>・全体の発表に向けて個別の指導を充実させ発展的な演奏ができる。</li></ul>	【歌唱】【器楽】 ミッション:インポッシブルのテーマ ふるさと 世界中のこどもたちが 夕日が背中をおしてくる	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(ア) ウ(ア)</u> <u>(2)器楽イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>(2)器楽イ(イ) (ウ)</u>
	「いろいろな音楽の表現方法に親しもう」(12)	<ul style="list-style-type: none"><li>・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景がどのように関わっているかを DVD 鑑賞や動画視聴を通して感じ取らせる。</li><li>・様々な表現を視聴することで自分なりのイメージに近いものを選択し、楽曲の表現に活かせるようにする。</li></ul>	【歌唱】【鑑賞】 Memory／美女と野獣 ミュージカル《キャッツ》 ミュージカル映画『美女と野獣』 「舞台芸術」	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(ア)ウ(ア)</u> <u>B 鑑賞 ア(ア)イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>B 鑑賞 ア(イ) (ウ)イ(イ)</u>
	「いろいろな音楽の表現方法に親しもう」(7)	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽曲の背景や歌詞の内容に触れ、音楽と生活との結びつきについて感じる。</li><li>・全体でリズムや旋律を合わせることの楽しさを感じ取る。</li><li>・オノマトペについて学習し、オノマトペのもつリズム感やアクセントの特徴を生かしたアンサンブルを創作し、表現する。</li></ul>	【歌唱】【器楽】【鑑賞】 サンタが街にやってくる クリスマスイブ きよしこの夜 創作「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」 鑑賞「そりすべり」	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(ア)ウ(ア)</u> <u>(2)器楽イ(ア)</u> <u>B 鑑賞 ア(ア)イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>(2)器楽イ(イ) (ウ)</u> <u>B 鑑賞 ア(イ) (ウ)イ(イ)</u>
3 学期	「いろいろな音楽に親しもう」 (日本の音楽) (7)	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本の伝統音楽や楽器についてタブレットで検索し身近な場所で聴き親しんでいることに気づく。</li><li>・音階による雰囲気の違いを感じ取り、グループでの協働的活動を通して創作活動に主体的に取り組む。</li><li>・ICT を活用し、創作した曲を録音・鑑賞し、よりよい工夫につなげる。</li><li>・仲間を意識して一緒に音楽を楽しむ。</li></ul>	【歌唱】【器楽】【鑑賞】 篠笛／三味線／箏から選曲 箏曲《みだれ》 さくら さくら	<u>思・表・判</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(ア)ウ(ア)</u> <u>(2)器楽イ(ア)</u> <u>B 鑑賞 ア(ア)イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現 (1)歌唱イ(イ) (ウ)</u> <u>ウ(イ) (ウ)</u> <u>(2)器楽イ(イ) (ウ)</u> <u>B 鑑賞 ア(イ) (ウ)イ(イ)</u>

	「声に合わせて歌おう」(3)	<ul style="list-style-type: none"><li>・スプリングコンサートや卒業式の歌の歌詞を覚え、手話や身体表現を用いて表現力を高める。</li><li>・歌詞や旋律がわかるように視覚的な教材(歌詞カード)等を確認する。</li></ul>	<b>【歌唱】【鑑賞】</b> サザエさん 懐かしきケンタッキーの我が家 言わない ぼくは ぼく	<u>思・表・判</u> <u>A 表現(1)歌唱イ(ア)</u> <u>B 鑑賞 ア(ア)イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現(1)歌唱イ(イ)(ウ)</u> <u>B 鑑賞 ア(イ)(ウ)イ(イ)</u>
	「気持ちをこめて表現しよう」(3)	<ul style="list-style-type: none"><li>・卒業式への意識を高めさせ、より良い演奏の工夫を主体的に取り組む。</li><li>・発声法や姿勢に気を付けさせ、歌唱の表現力を高める。</li><li>・CD やダウンロードの音楽を活用する。</li></ul> ※鑑賞曲については、4 月と同じ。	<b>【歌唱】【鑑賞】</b> 旅立ちの日に Believe さよならと言おう 大地讃頌 「クローズ・アップ・マエストロ」	<u>思・表・判</u> <u>A 表現(1)歌唱イ(ア)</u> <u>知・技</u> <u>A 表現(1)歌唱イ(イ)(ウ)</u>
年間を通して		※鑑賞については、題材と関連させながら、楽曲の特徴を感じられるように編曲された教材や、幅広い音楽に触れることができるよう、時事的な楽曲等教材(鑑賞曲を含む)の選択の工夫をする。	<b>【共通教材】</b> 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」 「花」「花の街」「浜辺の歌」 ※共通教材の扱いについては、学習指導要領 P 250	

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部	2	I・II	音楽	I II（6 8）	高等部1・2段階

目標	知識及び技能	<u>曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。（1段階）</u> <u>曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。（2段階）</u>
	思考力、表現力、判断力等	<u>音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（1段階）</u> <u>音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（2段階）</u>
	学びに向かう力、人間性等	<u>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（1段階）</u> <u>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（2段階）</u>

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1学期	「はじめよう音楽」（6）	<ul style="list-style-type: none"><li>校歌の歌詞や旋律を正確に表現できるよう発声や発音、呼吸法、姿勢など歌唱の基本を知る。</li><li>歌詞を提示したり、CDに合わせて口ずさんだり、DVDを視聴しながら模倣し、演奏する。</li><li>プレゼンテーションによるクイズなど、楽しく歌詞の内容理解を深める。</li><li>クラスやグループごとに歌い、友達の演奏を意識する。</li><li>楽器の演奏については、音階等の基礎を実態に合わせて学習する。</li></ul>	<b>【歌唱】</b> 校歌 君に届くまで 優しいあの子 少年時代 小さな空 Smile Pretender Tomorrow Hum With Me □音の名前 音楽の速さを表そう	<u>思・表・判</u> A表現ア（ア）同 <u>知・技</u> A表現ア（イ）㊦ 同 ㊦ 2段階
	「リズムを楽しもう」（8）	<ul style="list-style-type: none"><li>楽曲の中の短いフレーズを、手でリズム打ちしたり、打楽器を鳴らしたりする。</li><li>拍子やリズムの違いを感じて手拍子をしたり、打楽器を鳴らしたりする。</li><li>テンポや拍子を感じて、指揮をふったり、指揮に合わせて表現したりすることができる。</li><li>ダンスミュージック等の楽曲を用い、身体表現を楽しむ。</li><li>歌唱や器楽、身体表現等の演奏方法をプレゼンで提示するなど、視覚的に分かりやすい教材教具を工夫し、主体的に練習に取り組む。</li><li>ポピュラー音楽の代表的な楽曲を視聴させ、現代の音楽への視野を広げる。</li><li>リズムカードを使ってグループでリズム譜を作り、手拍子で発表する。</li><li>発声や発音、楽器の取り扱い方、呼吸法、姿勢など基本的な演奏方法を意識する。</li></ul>	<b>【器楽】【身体表現】</b> サザエさん一家 切手のないおくりもの Wind from the south You are my sunshine ほたるこい ラデツキー行進曲 □テーブルミュージック □ボディパーカッション	<u>思・表・判</u> A表現エ（ア）同 <u>知・技</u> A表現エ（イ）㊦ 同㊦ 2段階 (ウ) ㊦ 同 ㊦ 2段階 ㊦ 2段階
	「メロディの楽しさを感じよう」（5）	<ul style="list-style-type: none"><li>短いフレーズごとに練習して表現力を高める。</li><li>視覚教材（動画）等の鑑賞により、様々な発声や呼吸の仕方を繰り返し確認しながら曲想に合わせた表現を工夫する。</li><li>日本語や外国語の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりによって生み出される表現の効果を知り、工夫して表現する。</li></ul>	<b>【歌唱】</b> アヴェ・マリア Amazing grace 野ばら この道 浜辺の歌 椰子の実 夏の思い出 Caro mio ben	<u>思・表・判</u> A表現ア（ア）同 <u>知・技</u> A表現ア（イ）㊦ 同㊦ 2段階 (ウ) ㊦ 2段階 ㊦ 2段階



	「音を重ね合わせよう」(5)	<ul style="list-style-type: none"><li>・簡単な旋律を用いて、輪唱や合唱の響きを感じる。</li><li>・ヴォイスアンサンブルを通して、リズムや言葉、音の重なりを楽しむ。</li><li>・時事的な出来事、修学旅行に関連した楽曲を取扱い、音楽への興味関心を高める。</li><li>・ミュージカルの中で歌われる楽曲を、CDや視覚的教材(動画配信等)を使用して表現活動に結びつける。</li><li>・1学期に練習した曲を記録(録画等)し、振り返ることで、表現の深まりや2学期の学習への意欲に繋げる。</li></ul>	<b>【歌唱】</b> Happy birthday to you Down by the sally gar dens カノン 見上げてごらん夜の星を <b>【器楽】</b> The raiders march  1学期既習曲	<u>思・表・判A表現ア(ア)同イ(ア)同</u> <u>知・技 A表現ア(イ)㊦同㊦2段階</u> <u>イ(イ)㊦同㊦2段階</u> <u>(ウ)㊦2段階㊦2段階</u>
	「音の重なる響きを感じよう」(12)	<ul style="list-style-type: none"><li>・お互いのパートを聴きあいながら演奏できるように意識する。</li><li>・ヴォイスアンサンブルや合奏を通して、リズムや言葉、音の重なりを楽しむ。</li><li>・楽器の取り扱いについて、個別に指示しながら明確な支援を工夫する。</li><li>・タブレットの音楽アプリを活用し、合奏の練習をしたり音の重なりを体験したりする。</li><li>・修学旅行に向けて、関連の音楽や楽曲を知り、主体的に鑑賞や表現に取り組む。</li></ul>	<b>【歌唱】</b> 南海譜 Finlandia-hymni あなたはどこに たからもの 大きな古時計 Moon river <b>【器楽】</b> 小さな世界 ミッキーマウスマーチ 星に願いを	<u>思・表・判 A表現ア(ア)同イ(ア)同</u> <u>知・技 A表現ア(イ)㊦同㊦2段階</u> <u>イ(イ)㊦同㊦2段階</u> <u>(ウ)㊦2段階㊦2段階</u>
2 学 期	「音楽を感じて表現を楽しもう」(12)	<ul style="list-style-type: none"><li>・修学旅行に関連した楽曲を取り扱い、音楽への興味関心を高め、旅行先での音楽への楽しみ方を支援する。</li><li>・鑑賞レパートリーを広げたり演奏技能を高めたりできるよう、個別の手立てを考慮して支援する。</li><li>・実際の楽器に触れながら演奏への興味関心を高める。</li><li>・みや央祭に向けて、発表する側のマナーや鑑賞する時のマナーを理解する。</li></ul>	<b>【器楽】</b> 小さな世界 ミッキーマウスマーチ 星に願いを 茶色の小瓶 Greensleeves STAR WARS Main title Yellow submarine	<u>思・表・判A表現イ(ア)同</u> <u>知・技A表現イ(イ)㊦同㊦2段階</u> <u>(ウ)㊦2段階㊦2段階</u>
	「いろいろな音楽の表現方法を楽しもう」(7)	<ul style="list-style-type: none"><li>・言葉とリズム、音の高低など音楽の要素を分かりやすく提示し、音楽アプリ(ICT活用)を使用しながらゲーム的な感覚で創作活動を楽しむ。また、グループ学習等の協働的な活動により、全員の発想を創作に生かす。</li><li>・旋律や循環コードを意識しながら創作し、音の組み合わせやハーモニーのおもしろさを感じ取る。</li><li>・ミュージカル映画やアニメーション映画の音楽特徴や良さを想像的に学習する。</li><li>・合唱やオーケストラ等の響きを感じさせ、ハーモニーのおもしろさを感じ取り表現の工夫ができるように支援する。</li></ul>	<b>【創作】</b> □音のスケッチ What is Composition ソナチネ Op.36-1 ・音階(ドレミの歌) ・循環コード Scabrough Fair Canticle <b>【鑑賞】</b> 魔笛 オペラ座の怪人 ミュージカル「ウエスト・サイド物語」より トゥーランドット Nessun dorma キャッツ Over the rainbow ニュー・シネマ・パラダイス タイトル曲 二人だけの映写会 愛のテーマ	<u>思・表・判A表現ウ(ア)同B鑑賞ア</u> <u>(ア)1段階</u> <u>知・技 A表現ウ(イ)1段階㊦1段階</u> <u>㊦1段階(ウ)同</u> <u>B鑑賞ア(イ)1段階</u>

3 学 期	「音楽の違いを楽しもう」 (7)	<ul style="list-style-type: none"><li>・各国、各地域と音楽のつながりを、ICT を活用して調べる。</li><li>・日本や世界の諸民族の音楽を鑑賞し、日本と各国との文化的背景や言葉の特性や発声の違いを比較したり、共通性を感じながら表現する。</li><li>・スプリングコンサートに向けての役割分担や発表に意欲をもち、積極的に楽しむことができる。</li><li>・他者の前で楽曲にふさわしい態度で演奏したり、鑑賞したりするマナーを理解する。</li></ul>	<b>【歌唱】 【鑑賞】</b> Yesterday once more Let it be ake me home, country roads 日本の音楽 さくら さくら 春の海 雅楽 等 世界の民族音楽 モリンホール ケチャ ガムラン 等 日本や世界の民謡や歌曲 ソーラン節 (日本) 稗つき節 (日本) Ich liebe dich (ドイツ) Les feuilles mortes (フランス) Tout, tout pour ma Cherie (フランス) アリラン (韓国) Piacer d’ amor (イタリア) Caro mio ben (イタリア) O sole mio(イタリア)	<u>思・表・判 A 表現ア (ア) 同</u> <u>B 鑑賞ア (ア) 2 段階</u> <u>知・技 A 表現ア (イ) ㊦同㊦ 2 段階</u> <u>(ウ)㊦2 段階 ㊦ 2 段階</u> B 鑑賞ア (イ) 2 段階
	「歌詞を感じながら表現しよう」(3)	<ul style="list-style-type: none"><li>・歌詞を見ながら、発声や発音、呼吸法、姿勢を意識させる。</li><li>・歌詞の内容を視覚的に掲示し、イメージをもたせることによって、表現力を高めることができるよう支援する。</li><li>・楽曲の表している情景を、視覚教材等を活用して理解できるよう支援する。</li></ul>	<b>【歌唱】</b> Believe 旅立ちの日に あなたはどこに たからもの 大きな古時計 ・Moon river たき火	<u>思・表・判 A 表現ア (ア) 同</u> <u>知・技 A 表現ア (イ) ㊦同㊦ 2 段階</u> <u>(ウ) ㊦2 段階 ㊦2 段階</u>
	「気持ちを合わせて表現しよう」(3)	<ul style="list-style-type: none"><li>・歌詞を覚え、手話による表現力も高めることができるよう支援する。</li><li>・自分の好きな曲や友達の好きな曲を紹介し合い、共に楽しむことができるよう支援する。</li><li>・いろいろな楽曲を通して表現活動や鑑賞への意欲、演奏力が高まったことをお互いに称賛させる。</li></ul>	あなたはどこに たからもの 大きな古時計 Moon river たき火  1 年間の既習曲 進級・卒業に関連したポピュラーソング	<u>思・表・判</u> <u>A 表現ア (ア) 同イ (ア) 同</u> <u>B 鑑賞ア (ア) 2 段階</u> <u>(イ) 2 段階㊦2 段階㊦2 段階</u> <u>知・技 A 表現ア (イ)㊦同㊦ 2 段階</u> <u>イ (イ) ㊦同㊦2 段階</u> <u>(ウ) ㊦ 2 段階</u> <u>㊦ 2 段階</u> B 鑑賞ア (イ) 2 段階㊦2 段階㊦2 段階
通 年 間 を		※鑑賞については、題材と関連させながら、楽曲の特徴を感じられるように編曲された教材や、幅広い音楽に触れることができるよう、時事的な楽曲等教材（鑑賞曲を含む）の選択の工夫をする。	<b>【共通教材】</b> 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」 「花」「花の街」「浜辺の歌」 ※共通教材の扱いについては、学習指導要領 P 2 5 0	1 年間を通して共通事項ア イ

学部	学年	教育課程	教科等	年間授業時数	段階
高等部	3	I ・ II	音楽	I II （6 8）	高等部 2 段階

目 標	知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。
	思考力、表現力、判断力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

時期	題材名（時数）	具体的な指導内容・教材教具等		学習指導要領に示されている指導内容
1 学期	「はじめよう音楽」（6）	（歌唱） ・音楽をとおして、卒業学年としての意識や目標をイメージできる選曲をする。 ・校歌の歌詞や旋律を正確に表現できるよう発声や発音、呼吸法、姿勢に気をつける。 ・楽器演奏の音階等の基礎を実態に合わせて学習する。 ※鑑賞については、授業の導入として時事的な曲や流行曲を効果的に取り扱う。また、題材と関連させながら、原曲だけでなく楽曲の特徴を感じられるように編曲された教材も使用する。	【歌唱】 ・校歌 ・Smile ・Pretender ・Tomorrow ・さくらさくら ・われは海の子 ・からたちの花	思・表・判 <u>2A 表現ア（ア）</u> 知・技 <u>2A 表現ア（イ）㊦㊧</u>  共通事項
	「リズムにのって楽しもう」（8）	（身体表現） ・行事（運動会）で使われる曲を中心に、テンポやリズムを感じ、のびのびと身体表現をする。 ・打楽器やボイスパーカッションなどリズムを感じやすい教材を工夫する。 ・手話等、様々な表現方法について知る。	【身体表現】 ・タンゴ ・サンバ ・リズムアンサンブル	思・表・判 <u>2A 表現エ（ア）</u> 知・技 <u>2A 表現エ（イ）㊦</u> <u>（ウ）㊧㊨㊩</u>
	「メロディにのせて楽しもう」（5）	（器楽） ・簡単な旋律を用いて、演奏することができる。 ・楽器の取り扱いについては、個別指導や楽譜の提示の仕方など、実態に応じた支援ができるように工夫する。 ・歌唱については、視覚的教材を使用し、リズムや歌い出しのタイミングを分かりやすいように支援する。 ・高総文祭参加を目標に掲げ、生徒の好みや実態を考慮した曲を取り入れながら、練習等の計画を提示し協働的な活動の意識付けを図る。 ・合唱と器楽演奏を取り入れた曲作りの学習に興味をもって取り組ませる。 ・楽器の取り扱いや発声の仕方などを個別に支援し、演奏技能を高められるよう個に応じた手立てを講じる。 ・実態や興味関心を考慮しながら、演奏パートを選択させ、お互いを尊重しながら学習できるよう支援をする。 ・楽器の音や声を合わせることで、和音（コード）の響きを感じさせる。	【器楽】 ・You are my sunshine ・ほたるこい ・Amazing grace	思・表・判 <u>2A 表現イ（ア）</u> 知・技 <u>2A 表現イ（イ）（ウ）㊦㊧</u>
	「響きを合わせて表現しよう」（5）	（歌唱） ・響きのある発声の仕方を知る。 ・高総文祭参加を目標に掲げ、合唱と器楽演奏を取り入れた曲作りの学習に興味をもって取り組む。 ・ICT 活用により自分たちの演奏を録音録画して、自己評価をする。 ・演奏の工夫に向けてグループや全体で協力しながら取り組む。	【歌唱】 ・高等学校総合文化祭合唱曲 ・Down by the sally gatdens ・カノン ・T h e raiders march	思・表・判 <u>2A 表現ア（ア）</u> 知・技 <u>2A 表現ア（イ）アイ</u>

2 学 期	「音楽に合わせて表現の工夫をしよう」(12)	(歌唱) ・高総文祭やみや央祭での発表を目標に掲げ、楽曲をまとめや表現の工夫につなげる。 ・ICT 活用により、自分たちの演奏の録音録画を視聴する活動をとおして、生徒自身の演奏への気づきを大切にしながら表現を工夫する。 ・感想を伝える等して、演奏の工夫に向けてグループや全体で協力しながら取り組む。 ・発声法や姿勢に気をつける。 ・ステージマナーについて理解する。	【歌唱】 ・高等学校総合文化祭合唱曲 ・Yesterday once more ・Let it be ・Take me home, country roads ・Ich liebe dich (ドイツ) ・Les feuilles mortes (フランス) ・Tout, tout pour ma Cherie (フランス) ・Core' ngrato (イタリア) ・Piacer d' amor (イタリア)	思・表・判 <u>2A 表現ア (ア)</u> 知・技 <u>2A 表現ア (ア) (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧</u>
	「心を合わせて表現しよう」(12)	(歌唱) ・高総文祭参加を目標に掲げ、合唱と器楽演奏を取り入れた曲作りの学習に興味をもって取り組む。 ・ICT 活用により、自分たちの演奏の録音録画を視聴する活動をとおして、生徒自身の演奏への気づきを大切にしながら表現を工夫する。 ・感想を伝える等して、演奏の工夫に向けてグループや全体で協力しながら取り組む。 ・発声法や姿勢に気をつける。 ・演奏者としてのマナーや鑑賞する側のマナーを理解する。 ・高総文祭での経験を今後の学習活動につなげる。	【歌唱】 ・高等学校総合文化祭合唱曲 ・あなたはどこに ・たからもの ・大きな古時計 ・Moon river ・里の秋 ・たき火	思・表・判 <u>2A 表現ア (ア)</u> 知・技 <u>2A 表現ア (イ) ㊦㊧ (ウ) ㊦㊧</u>
	「曲の特徴を生かして、いろいろな音楽を表現しよう」(7)	(創作) ・リズムや拍子など特徴が感じやすい曲や、模範演奏を通して、音楽の要素に気づいたり、感じたりする。 ・身体表現や手話による歌唱を行う。 ・TV やCM などの身近な音楽を題材として扱い、アレンジする活動により、曲の雰囲気の変化に気づく。 ・電子楽器の操作によりいろいろな楽器の音色やリズムを扱う。 ・言葉遊びや替え歌、簡単なリズムやメロディの創作、身近な音楽のアレンジなどをする。 ・ICT 活用により、創作した内容を記録し、よりよい工夫や発表につなげる。 ・ミュージカル映画やアニメーション映画の音楽特徴や良さを想像的に学習する。	【創作】 ・音素材の特徴を生かして音楽をつくろう ・音階 (ドレミの歌) ・音のスケッチ ・見上げてごらん夜の星を ・ 【鑑賞】 ・交響曲 ・協奏曲 ・ラプソディ・イン・ブルー ・リベルタンゴ ・ミュージカル「ウエスト・サイド物語」より ・トゥーランドット N e s s u n d o r m a ・キャッツ O v e r t h e rainbow ・ニュー・シネマ・パラダイス タイトル曲 二人だけの映写会 愛のテーマ ・ツィゴイネルワイゼン ・アルハンブラの思い出	思・表・判 <u>2A 表現ウ (ア)</u> 知・技 <u>2A 表現ウ (イ) ㊦㊧ (ウ)</u>
3 学 期	「いろいろなジャンルの音楽を楽しもう (世界の音楽)」(7)	(器楽) ・各国や地域の文化について広く知り、共通点や相違点を考える。 ・日本の楽器や民族楽器に触れたり、音を聴いたりする。	【器楽】【鑑賞】 ・六段の調 (箏) ・ていんさぐぬ花 (三線) ・松の緑 (三味線)	思・表・判 <u>2A 表現イ (ア)</u> 知・技 <u>2A 表現イ (イ) ㊦㊧</u>

年間を通して		<ul style="list-style-type: none"><li>・日本や世界の諸民族の音楽を鑑賞し、日本と各国との文化的背景や言葉の特性や発声の違いを比較したり、共通性を感じたりしながら表現する。</li><li>・世界の音楽を中心に学習し、簡単なフレーズの模倣をすることができる。</li><li>・タブレットを活用して民族楽器や各国、各地域と音楽のつながりを調べる等する。</li></ul> ミュージカル映画やアニメーション映画の音楽特徴や良さを想像的に学習する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・スプリングコンサートに向けての役割分担や発表に意欲をもち、積極的に楽しむ。</li><li>・スプリングコンサートに向けた学習を通して、生演奏による響きの豊かさや ICT を活用した表現の発信の仕方を知り、余暇活動に広がりを持つ。</li><li>・他者の前で楽曲にふさわしい態度で演奏したり、鑑賞したりするマナーを理解する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・八木節音頭</li><li>・ムガーン</li><li>・サイン・ワイン</li><li>・ジョージアの男声合唱</li><li>・ポリネシアのヒメネ</li><li>・ドゥルパド</li><li>・草原情歌</li><li>・トラジ タリョン</li><li>・赤いサラファン</li><li>・ソルヴァイグの歌</li><li>・母が教えた歌</li><li>・声明「散華」</li><li>・こきりこ節</li><li>・佐渡おけさ</li></ul>	
	「音楽に思いをのせて（卒業に向けて）」（6）	<p>（歌唱）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・卒業式への意識を高めさせ、より良い演奏の工夫を主体的に行う。</li><li>・発声法や姿勢に気を付ける。</li><li>・歌詞カード等の視覚的な教材を活用しながら歌詞や旋律を知る。</li><li>・時事的かつ様々なジャンルの音楽を活用し、余暇の時間を楽しむ方法を知る。</li><li>・「卒業」をテーマに自分で楽曲紹介をしたり、良さを伝えたりする。</li></ul>	<p>【歌唱】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・卒業式の歌</li><li>・思い出がいっぱい</li><li>・いのちの名前</li><li>・心と心で</li></ul>	<p>思・表・判 <u>2</u>A 表現ア（ア） B 鑑賞ア（ア） 知・技 <u>2</u>A 表現ア（イ）㊦㊧ （ウ）㊦㊧ B 鑑賞ア（イ）㊦㊧</p>
		※鑑賞については、題材と関連させながら、楽曲の特徴を感じられるように編曲された教材や、幅広い音楽に触れることができるよう、時事的な楽曲等教材（鑑賞曲を含む）の選択の工夫をする。	<p>【共通教材】</p> 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」 ※共通教材の扱いについては、学習指導要領 P 2 5 0	<p>思・表・判 <u>2</u>ア（ア） 知・技 <u>2</u>ア（イ）㊦㊧</p>